

2024 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 聖ヨハネ会

社会福祉法人聖ヨハネ会

基本理念

カトリックの精神に基づき、永遠の生命を有する人間性を尊重し、「病める人、苦しむ人、弱い立場の人」に奉仕します。

基本方針

1. 援助を必要とする人々をかけがえのない存在として関わり、人間の尊厳にふさわしい医療または福祉を追求しながら、共にいのちの質を高め合う全人格的な援助を行います。
2. 社会福祉の事業として、良質なサービスを提供し、公正に運営します。
3. 法令及び規程に則り、事業を運営します。
4. 地域社会に立脚した事業として、地域の福祉または医療に貢献します。

職員の心得

1. 私たちは法人の理念を理解し、その具体的な実現に努めます。
2. 私たちは自己の使命を認識し、その職能の専門性を十分に発揮するように努力し、各々が役割に応じた自己啓発に努めます。
3. 私たちは社会福祉事業である各施設を相互に理解のもとに、連携、協力に努めます。

活動の理念

病に苦しむ人、ハンディを負った人、自立の困難な人の隣人となって、援助の手を差しのべ、その必要に応じて最善を尽くします。

2024 年度事業報告

目 次

一	法人本部事業報告	・ ・ ・ ・ ・ 2
二	事業経営	・ ・ ・ ・ ・ 6
	1 障害福祉部門	・ ・ ・ ・ ・ 6
	2 高齢福祉部門	・ ・ ・ ・ ・ 31
	3 医療部門	・ ・ ・ ・ ・ 57
	4 収益事業部門	・ ・ ・ ・ ・ 63
三	理事会	・ ・ ・ ・ ・ 64
四	評議員会	・ ・ ・ ・ ・ 68
五	経営会議	・ ・ ・ ・ ・ 69

一 法人本部事業報告

【はじめに】

2024 年度は医療・介護・障害のいわゆるトリプル報酬改定があり、当法人の事業すべてにおいて今後の指針となる国の考え方が示された年であった。医療と介護の連携、重度障害への対応、BCP の実践、虐待防止の徹底、サイバー攻撃等からの情報漏洩への対応等々、どれもやらねばならないことである。また世界的な国際情勢の変化により為替変動による物価高騰、エネルギー価格の高騰、人手不足による人件費の高騰等、社会福祉法人の運営に大きな支障をきたす環境の変化が続いている。

そのような中、事業収支は今年度も大変厳しい結果となり、継続性の観点からも 様々な点での取捨選択を迫られている。その中で病院事業については資金繰りが厳しく、修道会からの支援金を充てることとなり、一旦縮小均衡を考える時と判断し、収支を安定させるための取捨選択を進め、療養病棟を一時休止することとなった。また桜町聖ヨハネホームにおいては職員採用を実施するも定着しない状況があり、結果として利用者受入の制限を余儀なくされる事態もあった。全事業において職員の採用に苦慮する中、いかに定着して働いてもらうかを今まで以上に真剣に考えていかなければならないことと認識している。毎月開催している理事会でも有効な対策を検討している。そのような中で老朽化が進む桜町聖ヨハネホームの改築に向けて、東京都が公募する清瀬促進施設利用事業へ応募することとなった。本年 5 月に応募書類を提出し、7 月に審査結果が出るというスケジュールである。障害福祉部門では東京事業部の再編に取り掛かるとともに、世代継承のための人事体制を進めている。

2025 年問題、その先の 2040 年問題と、当法人が今後遭遇していく諸問題に英知を結集して対処していかなければならないと考えるが、医療と介護（障害）の連携を特に意識しながら、地域共生社会の実現を目指して活動していきたい。

【事業報告】

- 1 理事会において、理事長及び業務執行理事の業務執行状況を報告した。(6月及び11月)
- 2 会計監査人による2024年度の会計監査を実施した。
- 3 所轄庁への現況報告書を整備した。また財務規律の強化として作成義務のある財務諸表等電子開示システムに関する各種データを作成し、社会福祉充実残額を算出した。

4 法人機能の強化

(1)サービスの質の向上

- (ア) 定款によって定められた「運営協議会」の第15回を2024年8月に、第16回を2025年1月に開催した。利用者家族や民生委員から構成される協議会で、要望や意見を聴く機会となり今後のサービスに反映していくこととなった。

開催日：第15回 2024年8月1日(月) 10:30-11:30

第16回 2025年1月27日(月) 10:30-11:30

- (イ) 昨年度に引き続き法人内の全事業所を対象とした研修会は実施できなかった。

(2)地域における公益的な取組の推進

- (ア) 関係団体(全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、小金井市社会福祉協議会等)が主催する連絡会等へ参加し、法人間の連携や広域的な取り組みに協力した。(開催はすべてリモート開催)

○会議名：東京都社会福祉協議会医療部会

開催日：2024年5月、7月、9月、11月、12月、2025年1月、3月

○会議名：全国福祉医療施設協議会

開催日：2024年10月、12月、2025年3月

○会議名：東京都社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会

開催日：2024年4月、6月、7月、9月、11月、2025年1月、2月

(3)信頼と協力を得るための情報発信

- (ア) 2024年度事業計画及び予算、2023年度事業報告及び決算をホームページへ掲載した。また各事業活動、提供するサービスの内容、公益的な取り組みの実施状況等について、広報誌等を作成し利用者や家族、地域住民に発信した。

- (イ) 感染に関する取り組みや各施設の活動等を地域の町内会へ知っていただくための「聖ヨハネ会かわら版」を発行した。

(4)人材の確保に向けた取り組みの強化

- (ア) 人材採用活動支援

特に高齢福祉部門の職員採用等を中心に、人材紹介会社との連携による人材確保、法人での採用面接会の開催などを実施し採用支援した。

(5)組織統治(ガバナンス)の確立

- (ア) 内部管理体制の基本方針に基づき、組織体制を整備した。

5 事業運営に沿った規程類の整備について

各部門において給与規程、就業規則、組織規程、運営規程等について改訂した。

- 6 5年ぶりに桜町地区の「地域交流会」を実施した。
- 7 聖ヨハネホスピスケア研究所、シニアハイムさくら及び障害福祉部門東京事業所、高齢福祉部門の会計業務及び事務業務をサポートした。
- 8 全法人を対象とした勤怠管理システムの構築に着手した。

その他活動については、後述の経営会議の活動実績を参照されたい。

9 庶務・登記・監査事項等

1) 定款変更認可申請

●基本財産処分

- ① 2024年5月15日 訪問看護事業の廃止
基本財産の増減（収用事業等）

2) 登記

登記年月日	登記内容
2024年6月26日	資産の総額（5,563,700,072円） （2023年3月31日変更）

3) 指導監査等

実施年月日	内容	監査人等
2023年4月24日	令和4年度小金井市障害者 日中活動系サービス推進事 業補助金実績報告に係る実 地調査	小金井市
2023年11月1日	指導監査（富士聖ヨハネ学 園 管理・経理・処遇）	山梨県福祉保健部福祉保 健総務課 監査指導担当
2023年11月16日	適時調査（桜町病院）	関東信越厚生局
2023年11月20日	厚生年金保険被保険者の 資格及び報酬等の調査	日本年金機構立川年金事 務所
2023年12月12日	医療法第25条第1項の規 定に基づく立入検査	東京都保健医療局
2024年1月23日～ 24日、3月6日	実地検査（桜町聖ヨハネホ ーム、桜町高齢者在宅サー ビスセンター	東京都福祉局指導監査部
2023年5月24日	2022年度監事監査	監事 会計監査人

4) 調査等

提出年月	提出内容	提出先
2024 年 5 月	障害者雇用状況報告書	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
2024 年 6 月	社会福祉法人調査票 現況報告書	東京都福祉保健局指導監査部指導調整課指導調整係
2024 年 7 月	事業報告書	独立行政法人 福祉医療機構

二 事業経営

1. 障害福祉部門

【 総 括 】

部門の方針及び事業について

2024年度の新型コロナウイルス罹患状況は、山梨事業部・東京事業部ともに時折感染する利用者・職員がいるものの大規模なクラスターは発生せず、安定した事業運営ができた。部門としては引き続きこれまで同様の感染防止対策を続けている。

障害福祉部門では、2020年度からの中期経営計画に基づき事業継続と安定した経営について検討を重ねてきたが、その過程で二つの重要課題が明らかになった。

一つ目は利用者の重度化・高齢化等により医療対応等が増え、適正サービス事業への移動検討が必要になってきたこと。学園では死亡退所以外に医療対応退所者が増加、東京事業部では学園から地域移行した人のグループホーム対応が困難な人が増えてきたことが挙げられる。

二つ目は人材確保の困難さから事業継続に支障が出ていることである。山梨地区は、給与面等の待遇では優良企業だが、インバウンド効果で観光業等に人材が流出している。東京地区は、給与面では民間企業に対して競争力がなく埋没してしまうことが主な理由として挙げられる。

さらに、学園では退所に伴う新規入所者が新型コロナウイルスの時期と重なったため入所困難になり利用者が減少してきたこと。北麓のグループホームでは山梨県民を広く対象としてきたが、地域の要望と利用ニーズがマッチせず、定員が充足できない状況が続いてきた。

このような状況から、一定程度の事業規模縮小を行い持続可能な事業展開を図ることとし、2023年度までに北麓CVの整理を実施した。2024年度以降については、東京事業部の再構築を実施することとし、2025年2月末を以て小金井聖ヨハネワークセンターを廃止、グループホームについては2025年度に持ち越しとなった。

支援面では、学園で虐待認定があったことから、改善計画を作成するとともに支援の質の向上に向けて研修や事例検討等を踏まえ、職員意識の改革と質の向上を目指す取り組みを行った。

財務状況について

障害福祉部門は、東京都民及び山梨県民向けの事業を行っており、事業内容も入所・通所施設から相談支援まで幅広い。性質上採算が見合わない事業もあるが、どの事業も必要不可欠であるとともに相互の協働・補完関係にあることから部門全体で取り組むことを指針としている。

2024年度までは部門全体で安定した事業経営となるが、今後の事業再構築により事業転換のタイムラグ等が発生するため、2025年度から2026年度にかけて厳しい財政状況が想定される。

中期経営計画について

中期経営計画については、「部門の財政基盤を安定させるための事業見直し」を重点目標としている。そのため、法人理念に則り、利用者ニーズに向き合った支援体制の構築と安定した事業運営を維持継続していくため、部門全体を俯瞰した再構築を進めている。利用者支援では利用者の重度化・高齢化が進む中で、可能な限り地域での生活を継続していくための仕組みが必要であるが、部門では幅広い事業形態があることから利用者の状態に合わせた適切な生活環境の提供に今後も取り組んでいきたい。また、厳しさを増す人材確保と合わせた取り組みを着実に進めてい

くことも重要となる。その一環として、情報発信と福祉の魅力発信のため、Instagram の運用を開始した。

拠点区分名：富士聖ヨハネ学園

I 事業所名：富士聖ヨハネ学園
サービス区分名：施設入所支援事業・短期入所事業・生活介護事業

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (R6 年度)	利用率 (R5 年度)	利用率 (R4 年度)
生活介護	154 人	134 人	129 人	83.0%	83.0%	83.0%
施設入所支援	122 人	117 人	118 人	96.7%	98.4%	95.2%
短期入所	8 人	—	2.5 人	12.3%	5.3%	16.6%

平均年齢 54.7 歳（最高 76 歳 最低 25 歳）

男女比率 60 名（男子）：61 名（女子）

平均在所期間 28.7 年（最長 51.8 年）

年間入所 3 名 年間退所 3 名（死亡）

【職 員】

	令和 6 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						令和 7 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
園長	1		1							1		1
サビ管	5		5							5		5
生活支援員	68	34	102	1	1	1	2			68	33	101
事務員	3	1	4	1			1			4		4
栄養士・調理員	5	10	15			1	1			5	10	15
設備等	2	3	5				1			2	2	4
医師		1	1								1	1
看護師	1		1							1		1
医療事務員		1	1								1	1
合計	85	50	135	2	1	2	5			86	47	133

*非正規職員については、拠点間異動を含むため合計数値が一致しない。

【施設運営状況】

新型コロナによりレッドゾーン対応を余儀なくされたが、各課の取り組みにより早期に通常の運営が行われたため、経営への影響は最小限にとどめることが出来た。

また、報酬改定により強度行動障害支援の加算が増え、学園全体の経営の安定につながっていた。

【利用者支援状況】

新型コロナウイルスの5類感染症移行により、感染予防に努めながら学園での行事、外出、保護者との面会等を行うことができた。

利用者からの聞き取り調査（第三者評価）では、学園や課の行事や外出（外食、旅行）の取り組みが利用者さんから高評価だった。

利用者の健康面では、本年度4名がお亡くなりになり、今後の医療、看護、介護、支援の体制を整えるための大切な課題を頂くこととなった。

【施設整備状況】

- ・学園設備では、本年度も冷暖房機器の不具合の発生頻度が増え、その修理のための費用が大きくなっている。来年度から機器の交換購入の時期をむかえる。
- ・学園入口の接続道路（仮称：新鐘山道路）、本橋の建設が来年度には終了する。学園では、利用者の生活環境に影響がないように、目隠し塀の設置、取付道路の安全確保を陳情している。

【教育研修】 山梨事業部（富士聖ヨハネ学園）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
4月1日	法人新任職員研修	法人本部	1名
4月3日5日	強度行動障害者支援にかかわる研修1	富士聖ヨハネ学園 会議室1	16名
4月17日	強度行動障害者支援にかかわる研修2	富士聖ヨハネ学園 会議室1	16名
5月14日15日	強度行動障害者支援者養成研修（基礎）	青少年センター	1名
5月27日	障害者差別解消法にかかわる研修	園長室	1名
5月30日	基本的な介護技術（移乗）	支援2課フロアー	10名
6月5日	虐待防止研修 基礎知識（厚生労働省）	会議室1	3名
6月5日	身体拘束も弊害について	会議室2	2名
6月11日12日	強度行動障害者支援者養成研修（基礎）	青少年センター	1名
6月13日	能登半島地震福祉支援活動（学習会）	ネット受講	1名
6月16日	減塩指導の必要性	山梨市民会館	1名
6月17日	虐待防止研修 マネージャー	青少年センター	16名
6月19日20日	強度行動障害者支援者養成研修（実践）	青少年センター	2名
6月24日	基本的な介護技術2（移乗）	支援2課フロアー	12名
6月28日	QOLを高める	会議室1	18名
6月29日30日	意思決定支援と虐待防止に関する研修	山梨市民会館	1名
7月4日5日	関東地区知的障害福祉関係職員研修会	長野市メトロポリタンH	5名
7月20日	運動と食事と栄養	山梨市民会館	1名

7月20日21日	自閉症支援のコアスキルを学ぶ	北とびあ	2名
7月20日21日	障害児者とのコミュニケーション支援研修会	全国障害者総合福祉センター	1名
8月15日～	福祉職場で生かすアンガーマネジメント	会議室1, 2	80名
9月12日	褥瘡予防と栄養	ソフィアホール	40名
10月28日29日	法人理念と歩みを知る	雪の聖母修道院	7名
11月6日	虐待防止に関する研修	ソフィアホール	90名
11月6日～	コーチング研修	会議室2	22名
11月6日～	苦情解決研修	会議室2	25名
11月6日～	ハラスメント研修	会議室2	25名
11月6日～	福祉職 メンタルヘルス研修	会議室2	25名
11月15日18日	サービス管理責任者研修	青少年センター	1名
12月2日	感染症対策研修	ソフィアホール	80名
12月17日～	アサーティブコミュニケーション	会議室1	22名
12月17日～	育成面談研修	会議室1	22名
12月17日～	管理者のためのメンタルヘルス	会議室2	22名
1月20日	山梨県看護職員研修	看護協会研修センター	1名
1月25日26日	レクリエーション支援者養成研修	全国障害者総合福祉センター	1名
2月4日	強度行動障害者支援養成フォローアップ研修	青少年センター	1名
2月21日	新任職員フォローアップ研修	研究社英語センター	1名
3月8日	強度行動障害者と薬	飯田橋レインボービル	1名
3月12日	強度行動障害者支援事例研究会	山梨県防災新館	6名

※その他学園全体において計 51 回の研修 延べ外部研修 301 名、園内研修 301 名参加

Ⅱ 事業所名 ：富士聖ヨハネ学園 診療所

【施設運営状況】

各嘱託医師からの協力を頂き医療的な支援の体制がほぼ構築できている。またこの１年で支援と医療相互の協働も進んできている。

（現況 内科医 週 1 回 精神科医 週 1 回 精神科医 月 1 回 消化器内科月 1 回）

【利用者支援状況】

- ・日々の健康観察等（巡回）により利用者が適切な医療支援を受けることができるように取り組んだ。
- ・健康診断は、年 2 回実施し、結果を伝えるとともにその後のフォローを行っている。
- ・リハビリテーション委員会及び摂食嚥下カンファレンスを再構築し支援課、食事サービス課等と連携して利用者の支援を行っている。
- ・感染症予防、薬の管理、吸引の対応、応急手当等の研修会を、看護師を講師として実施している。（手洗い研修、ガウンテクニック研修、感染予防のための研修等）
- ・地域の協力を頂きながら早期のワクチン接種に取り組んでいる。（～6 回目終了）
- ・支援課からの利用者の健康管理及び外部受診にかかわる相談に対応している。
- ・利用者の入退院時の医療支援（医療情報の整理、共有）に取り組んでいる。

【施設整備状況】

- ・診療に必要な機器を、医師と相談しながら購入している。
- ・医療関係（病院、薬局）では、電子カルテシステム（必要最小限の機能）等をベースとした情報の伝達と共有が進んでいるため診療所でも導入していきたい。

拠点区分名：富士北麓聖ヨハネ支援センター

Ⅲ 事業所名	：富士北麓聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	：生活介護事業・就労継続支援B型事業・短期入所事業

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R6年度)	利用率 (R5年度)	利用率 (R4年度)
生活介護	35人	37人	36人	78.7%	77.8%	79%
就労継続支援 B型	15人	11人	10人	58%	67.2%	64%
短期入所	3人	—	1.8人	63.4%	73.7%	42.7%

平均年齢 37.9歳（最高 68歳 最低 20歳）

男女比率 27名（男子）：21名（女子）

平均在所期間 7.2年（最長 11年）

年間入所 1名 年間退所 2名

【職 員】

	令和6年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和7年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	9	11	20		1	4				8	15	23
看護師	2	1	3							2	1	3
調理員		1	1								1	1
合計	13	13	26		1	4				12	17	29

【施設運営状況】

生活介護は他事業所の利用していた利用者1名が新入所となったが、支援学校など新卒者の利用はなかった。就労継続B型を利用していたが体調不良により長期休みをしていたが、生活介護に利用変更して再開したいとのことで変更手続きを行った。

登録者37名となったが、車いすの方 強度行動障害の方が共存している中で支援の難しさを感じているので、学園通所課と利用者に再編成などの協議が必要となってきた。

就労継続支援B型については、就労A型利用となり1名減となったが3ヶ月後にこの方が再利用となった。A型利用にあたり課題が分かったので、再度、課題を見直して取り組みたい。年度途中、1名の方 就労に特化した施設の方が仕事に向かう姿勢を学ぶためにも良いのではと判断し他事業所に移られた。

同じく年度途中、就労移行の利用が終了し、B 型事業へ利用変更するために、センターの体験利用を経て利用につながった。

【利用者支援状況】

(生活介護)

- ・活動内容を多様化し、利用者が多様な活動に参加できるようにした。それにより活動が活性化していった。
- ・理学療法士によるリハビリテーションプログラムの作成を行い、看護師を中心として実践を行った。リハビリを目的に利用されている方もいるので、しっかり連携して支援を行いたい。
- ・行動障害の方が他利用者との関係で粗暴行為へつながることがあるので職員全体で協力していかないと支援が難しくなってしまう。

(就労 B)

- ・公的機関からの仕事 受託作業 かわらけ せんべいなど 切れ目なく仕事をすることができた。
- ・センターでの取り組みが評価され 他県の就労研修会にて発表している。(R5 年神奈川 R6 岩手 R7 茨城)
- ・各作業の手順の見直しをすることで作業の迅速化、正確化を図っている。
- ・個別支援計画書に則った支援を継続していく。

【施設整備状況】

- ・ボイラーの機器の交換
- ・就労 B 型 レーザー機器の購入

【教育研修】 通所支援課（富士北麓聖ヨハネ支援センター）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
9/4	山梨県精神障害者地域包括ケアシステム関係者研修会	アイメッセ山梨	1 名
11/6	富士聖ヨハネ学園 虐待研修(県権利擁護センター)	ソフィアホール	2 名
11/8	自閉症と強度行動障害の事例を通して地域で支える支援を学ぶ	Teams によるオンライン研修	2 名
11/12・13	強度行動障害基礎研修	県立青少年センター	1 名
11/19・20	強度行動障害実践研修	県立青少年センター	1 名
12/12	富士北麓自立支援協議会就労部会 虐待防止について	山中湖村老人福祉しあわせセンター	2 名
12/19	就労選択支援の目指すもの	甲府市総合市民会館	1 名
2/21	山梨県虐待防止基礎研修	県立青少年センター	1 名
2/26/27	強度行動障害基礎研修	県立青少年センター	1 名

IV 事業所名 : 河口湖聖ヨハネケアービレッジ
 富士吉田聖ヨハネケアービレッジ
 寿聖ヨハネ短期入所
 サービス区分名 : 共同生活援助 (介護サービス包括型)・短期入所事業

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (R6 年度)	利用率 (R5 年度)	利用率 (R4 年度)
河口湖聖ヨハネ ケアービレッジ	8 人	8 人	8 人	100%	100%	99.6%
富士吉田聖ヨハネ ケアービレッジ	13 人	13 人	13 人	92.7%	87.6%	91.4%
富士吉田 CV 短期入所	1 人	—	1 人	85.2%	90.7%	50.1%

平均年齢 52 歳 (最高 75 歳、最低 28 歳)

男女比率 10 名 (男性) : 11 名 (女性)

平均在所期間 13 年 (最長 32 年)

年間入所 富士吉田 CV 1 名 年間退所

【職 員】

	令和 6 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						令和 7 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	4	12	16							4	12	16
合計	6	12	18							6	12	18

【施設運営状況】

- ・重症心身障害者を対象とした寿ホームを含め、障害支援区分の高い方が多い中で、大きな事故もなく運営することが出来た。
- ・河口湖 CV 利用定員は満床で、女性に限り体験利用ができる部屋があり、地域在住の 3 名の方が利用してくれた。
- 富士吉田 CV 寿第二に 9 月地域在住の方が入居となり、満床となった。

【利用者支援状況】

- ・富士吉田 CV 寿第二は 9 月に 1 名新入所され満床となった。
- ・河口湖 CV 利用者 腸閉塞の疑いで夜間に入院となった。(2 回)
- ・富士吉田 CV 寿第二 発作の影響からか、食事摂取が難しくなっており、主治医からは胃瘻が望ましいと診断されている。そのため県内県外を含めて受け入れ先を探している。

- ・個別支援計画に則り、本人が希望する外出を計画、CVの交流会など計画していきたい。
- ・寿聖ヨハネ短期入所は利用者数をかなり増やすことができた。センター利用者 さぼーとヨハネ利用者だけではあるが、月25～30日の利用となっている。
- ・河口湖CVは空き部屋を利用して女性のみ体験利用を実施。現在、定期利用者は2名 希望者は3名ほどいる。

【施設整備状況】

- ・特になし

【教育研修】居宅支援課（ケアビレッジ）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
11/6	富士聖ヨハネ学園 虐待研修 (県権利擁護センター)	ソフィアホール	2名
11/7	尊厳を守る関わり方のコツ	優和福祉専門学校	1名
11/12・13	強度行動障害基礎研修	県立青少年センター	1名
11/19・20	強度行動障害実践研修	県立青少年センター	1名
12/2・4	サービス管理責任者 更新研修	ぴゅあ総合	1名

V 事業所名 : さぼーとヨハネ
サービス区分名 : 相談支援事業

【2024年度利用状況報告】

登録者 248名

【職 員】

	令和6年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和7年3月31日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
相談支援 専門員	4	2	6				1			4	1	5
合計	5	2	7				1			5	1	6

【施設運営状況】

- ・山梨県「富士・東部圏域マネージャー」に1名出向してきたが、今年度末で退任する。
- ・富士北麓障害者基幹相談支援センター「ふじのわ」に1名出向してきたが、次年度は相談員を変更する予定。

- ・富士聖ヨハネ学園入所利用者及び富士北麓地域に居住の方の計画相談契約者数が 248 件に達している。
- ・機能強化型（Ⅲ）と報酬改定によって 1 ケースでの単価が上がっている。

【利用者支援状況】

- ・一人暮らしの方で GH・入所施設など常時支援が必要な状況であるが、自宅での生活を希望しているので居宅介護事業を入れて買い物や掃除など支援してもらっているが自分の都合で拒否もあり難しさがある。
- ・県外から北麓地域に来て、納得してこちらに来ていないので不満が多く残っている。

【施設整備状況】

- ・特になし

【教育研修】相談支援課（相談支援）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
7/24	相談支援ネットワークやまなし交流会(BCP など)	きぼうの家	1 名
9/9	相談支援ネットワークやまなしニーズ整理表	きぼうの家	2 名
11/15	東京都社会福祉協議会 職場で起こる暴力について考えよう	飯田橋左官工業協同組合	1 名
11/19・20	高次脳機能障害基礎研修	大木記念ホール	1 名
12/23・24	高次脳機能障害実践研修	大木記念ホール	1 名
2/25	山梨県 専門別研修 意思決定支援	きぼうの家	2 名

拠点区分名：障害福祉部門 小金井

VI 事業所名：小金井聖ヨハネ支援センター
サービス区分名：生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業
就労定着支援事業

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R6年度)	利用率 (R5年度)	利用率 (R4年度)
生活介護	25人	27人	20.7人	79.7%	79.7%	70.9%
就労移行	10人	0人	0人	0%	16.5%	29.0%
就労継続支援B型	25人	24人	18.8人	76.7%	76.7%	70.6%

平均年齢 生活介護 38.4歳 就労移行 0歳 就労継続B型 36.9歳
(最高 70歳 最低 20歳)

男女比率 生活介護 18名：9名 就労移行 0名：0名 就労継続B型 14名：10名

平均在所期間 生活介護 5.3年 就労移行 0年 就労継続B型 5.0年 (最長9年)

年間入所 9名 年間退所 5名

【職 員】

	令和6年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和7年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1		1							1		1
サービス 管理責任者	2		2							2		2
生活支援員	4	12	16				1		1	4	11	15
事務員	2	2	4							2	2	4
栄養士・ 調理員	2	2	4							2	2	4
医師		1	1								1	1
看護師		1	1								1	1
合計	11	18	29					1		10	17	28

【施設運営状況】

小金井聖ヨハネワークセンターの閉所に伴い移動した利用者の心身のケアと安定した通所が行えるようサポートを行った。就労継続支援B型では作業を効率的に取り組むことで工賃の向上を図った。生活介護では利用者が楽しく生活できる支援環境の整備を図った。引き続き近隣の特別支援学校との連携を深め、新規利用者の獲得を目指す。

【利用者支援状況】

生活介護では利用者の安全と過ごしやすい環境を整えるため新任職員を始め、常勤、非常職員ともにコミュニケーションの機会を多く設け、支援に対する意見交換に注力した。また、基礎的支援力の向上を目指し、各種様々な研修会に参加した。

就労移行支援は新規の利用希望者は無かったが、昨年度就職した利用者のアフターフォローに取り組んだ。また、報酬改定の影響について市内就労移行事業の動向や障害者の就労についての社会状況を確認した。定着支援事業では適時職場訪問や面談を交え、一般企業での就労が長期的に継続できるように支援した。

就労継続B型では新規作業の請負と自主製造品の販売イベントへの取り組みにより収入の増加を計った。同時に利用者が積極的に作業に携わることができた為、年度末精算時に賞与を渡すことができた。次年度も工賃向上を目標に取り組んでいく。

《作業種類》パン販売は支援センターとワークセンターの2カ所で販売。新規卸販売(市内店舗)、法人敷地内移動販売を開始。【販売日 火・木・月末金】

- 屋外清掃業務：法人本部内トイレ清掃、小金井市委託（公園・砂場・公園トイレ）清掃業務、地域不動産業者委託（アパート清掃、敷地内除草作業）、一般宅除草作業
- 室内作業：パン製造・販売・配送、小金井市委託（リサイクル袋作り）、一般業者委託（ネジ組立て、封入、チラシ折り込み内職）、刺しゅう小物作り
- その他作業：各イベント出店など

【施設整備状況】

- ・事務所 デスクトップPC購入
- ・2F多目的室 サッシ廻り修理
- ・厨房 エアコン・床・グリストラップ清掃

Ⅶ 事業所名 : 小金井聖ヨハネワークセンター
サービス区分名 : 就労継続支援B型事業

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R6年度)	利用率 (R5年度)	利用率 (R4年度)
就労継続 支援B型	20人	0人	14.2人	70.9%	86.8%	93.0%

平均年齢 47.8歳 (最高 81歳 最低 24歳)

男女比率 13名(男性) : 6名(女性)

平均在所期間 6.5年 (最長 12.10年) 年間入所 0名 年間退所 19名

【職 員】

	令和6年4月1 日の職員数			年間退任・就任						令和7年3月31日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1		1				1	0		0
サ ー ビ ス 管理責任者	1		1		1				1	0		0
生活支援員	2	1	3		2	2	3	2	5	0	0	0
調理員		1	1				1		1		0	0
合計	4	2	6		4	2	4	2	8	0	0	0

【施設運営状況】

2025年2月末をもって閉所した。

【利用者支援状況】

利用者の高齢化が進む中、毎日の作業を安全に取り組めるように体調管理に注力し支援に努めた。同時に通所困難者の在宅支援も滞りが無いようにと試行錯誤したが、個別の支援ニーズが多様化し安定した在宅作業を提供することが難しくなった。また、自宅に訪問する職員の確保も課題となっていた。

《作業種類》

- 内職業者より業務請負（株式会社エアーージェイ）
- 有限会社石井ホームサービス（不動産業）よりアパート清掃、草刈り作業請負
- 小金井市内にある真明寺、貫井保育園と清掃業務請負
- 小金井市就労支援センターより東図書館壁面装飾展示請負
- ワークセンターにて制作した日用雑貨品や作品の販売イベントへ参加
- 利用者就労支援 就労実績 0名

【施設整備状況】

・無し

Ⅷ 事業所名 : 小金井聖ヨハネケアビレッジ (7ユニット)
サービス区分名 : 共同生活援助事業 (介護サービス包括型)

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R6年度)	利用率 (R5年度)	利用率 (R4年度)
本町1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
本町2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
本町3	4人	3人	3.5人	87.4%	100%	100%
貫井北町	2人	2人	2人	100%	100%	100%
梶野町	7人	5人	6.5人	92.8%	100%	100%

平均年齢 54.0 歳 (最高 82 歳、最低 31 歳)

男女比率 16 名 (男性) : 8 名 (女性)

平均在所期間 12.8 月 (最長 21 年) 年間入所 0 名 年間退所 3 名

【職 員】

	令和6年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和7年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	7	21	27		1	1	1	1	2	6	22	28
合計	9	21	29		1	1	1	1	2	8	22	30

【施設運営状況】

小金井聖ヨハネケアビレッジ5ユニット(本町1.2.3、貫井北町、梶野町)全て定員を満たしての安定した運営であったが、今年度末より本町3の閉所を進めている。そのため、利用者の再編成を行い始め、年度途中で本町3利用者1名が緑町へ転居。梶野町利用者1名が清瀬CVへ転居。また、病気で亡くなった利用者の退所もあり小金井CVとしては定員3名減で空室となっている。来年度、利用者再編を速やかに進め定員を満たしてゆく。

【利用者支援状況】

今年度も感染症対策をしながらの支援を継続。大きなクラスターなどは無いものの新型コロナウイルス・インフルエンザ・胃腸炎と数名の罹患者あり、その都度迅速に対応している。感染症研修の効果もあってか感染は最小限でくい止められた。

利用者の生活は安定しており、各ユニット大きな問題もなく過ごすことができたと思われるが、利用者の高齢化に伴い通院が増えている。日中活動先で倒れ、救急搬送された事例が1件。検査の結果、硬膜下水腫と診断され定期的にCTをとり経過観察を行った。

今年度はワークセンターの閉所により梶野町ケアビレッジの利用者4名の行先を探し、清瀬ワークセンター生活介護へ1名・他法人の就労B型へ2名・高齢の利用者に関しては介護保険を利用しデイサービスへ通う事となる。

今後も利用者の状態を見極めながらより良い生活の提供と支援を行ってゆく。

【施設整備状況】

- ・ 車輛（セレナ）購入
- ・ 洗濯機3台購入
- ・ 梶野町 居室2部屋修理

IX 事業所名 : 緑町聖ヨハネケアビレッジ (2ユニット)
サービス区分名 : 共同生活援助事業 (日中サービス支援型)

【2024年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R6年度)	利用率 (R5年度)	利用率 (R4年度)
緑町1	9人	9人	9人	100%	100%	100%
緑町2	9人	8人	8.5人	94.4%	100%	100%

平均年齢 55.0歳 (最高 70歳、最低 32歳)

男女比率 9名 (男性) : 8名 (女性)

平均在所期間 3.75年 (最長 4.0年)

年間入所 1名 年間退所 2名

【職 員】

	令和6年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和7年3月31日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	8	4	12	1	1	2	1	3	2	9	5	14
合計	10	4	14	1	1	2	1	3	2	11	5	16

【施設運営状況】

緑町ケアビレッジ男女とも定員を満たしての安定した運営でスタートした。年度後半より利用者の再編に伴い緑町女性利用者1名が清瀬ケアビレッジへ転居している。今後、山梨の富士聖ヨハネ学園への入所が決まっている利用者が1名おり退居予定である。

また、緑町男性利用者より他法人のグループホームへの転居希望があり本人の特性にあった

生活ができるグループホーム探しの結果、見学～体験を経て希望通り退居となる。男性利用者に関しては、利用者再編の流れで小金井ケアビレッジ本町3より転居し定員を満たす。女性利用者に関しては1室空きのまま年度をまたぐ事になる。女性利用者1名入院中。

来年度、利用者再編を速やかに進め定員を満たしてゆく。職員に関しては、慢性的に人手不足の状態が続いた。

【利用者支援状況】

今年度も感染症対策をしながらの支援を継続。大きなクラスターなどは無いものの新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルスと数名の罹患者あり、その都度迅速に対応している。感染症研修の効果もあってか感染は最小限でくい止められた。

利用者の生活は安定しており、各ユニット大きな問題もなく過ごすことができたと思われるが、利用者の高齢化に伴い通院が増えている。女性利用者が食道アカラシア・食道狭窄により食事が出来ず連日の嘔吐。入院生活が続いている。

男性利用者に関しては大きな動きはないものの難しい利用者に対しての支援と、その他の利用者へもきめ細やかな支援を目指して取り組んだ。

今後も利用者の状態を見極めながらよりよい生活の提供と支援を行ってゆく。

【施設整備状況】

なし

X 事業所名	: 小金井聖ヨハネ短期入所
サービス区分名	: 短期入所事業

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R6年度)	利用率 (R5年度)	利用率 (R4年度)
短期入所	4人	—	1.1人	28.0%	43.8%	26.0%

前年度から引き続き感染症対策を徹底しながら受け入れを行った。新規契約もその都度行っている。緊急ケースはなかったが緊急受け入れもできるだけご希望に添えるよう体制を整えている。今年度は桜町児童ショート移行期間として梶野町短期入所でのショートステイを行っている。来年度も協力体制を継続してゆく。

X I 事業所名	: 緑町聖ヨハネ短期入所
サービス区分名	: 短期入所事業

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R6年度)	利用率 (R5年度)	利用率 (R4年度)
短期入所	2人	—	0.5人	26.9%	14.2%	42.0%

前年度から引き続き感染症対策を徹底しながら男性1床・女性1床での受け入れを行なった。男性利用者の新規契約者はあったが、定期的な利用者は数名と少ない現状。女性利用者の定期利用者は数名ではあり余力はあるものの安定している。相談支援事業所より女性の緊急ケース受け入れ依頼あり約1か月対応。緊急の短期入所者受け入れもできるだけご希望に添えるよう体制を整えている。

X II 事業所名 : ふらっとヨハネ
サービス区分名 : 相談支援事業

【2024 年度利用状況報告】

登録者 115 名

【職 員】

	令和6年4月1日の職員数			年間退任・就任						令和7年3月31日の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
相談支援専門員		2	2				1		1		1	1
合計	1	2	3							1	1	2

【施設運営状況】

計画相談事業であることから、利用計画の作成とモニタリングを実施した。本年は特に、地域で生活している利用者の中には今後の生活を見据えてグループホームでの生活を望む方が多くなっており、他事業者と連携し小金井市や近隣市区の状況を確認し必要な情報を提供した。また、高齢の利用者も多くなり、三多摩地区では実際に65才の誕生日を目前に障害福祉サービス（生活介護）の給付を打ち切る自治体もあり、まさに介護保険優先の社会が現実化し始めている。利用者が安心した地域生活が送れるべくサービスの切れ目がないよう介護保険事業者と連携しスムーズな制度移行を計った。

【利用者支援状況】

2014年に「ふらっとヨハネ」が発足して以来たくさんの利用者の「サービス等利用計画」を作成してきたが現在の福祉サービスの支援では対応できないケースも増えている。複雑化する社会の中で、必要なサービスを見つけることが本人では難しいため、自立支援医療を知らない利用者に制度を伝えることや、視覚障害者に東京都盲人福祉協会が行っている歩行訓練等のサービスにつなげた。計画相談支援事業の支援内容ばかりではなく多様なサービスの中から必要なサービスを確認し、利用者本人に伝える事も重要な支援となっている。

登録されている利用者が地域社会の一員として生活できるよう、一人一人の利用者に寄り添いサービス提供のできる適度な利用者数を目指し支援を行った。

【施設整備状況】

今年度も「計画相談・ほのぼの more システム」による相談支援利用者全員の「サービス等利用計画の作成」と個人情報を一元化して今後の相談支援に備えている。

【教育研修】 小金井

日時	研修名	会場	出席者
2024/4/1 ～9/30	日本知的障害者福祉協会 オンデマンド研修 第5期 障害のある方への支援（基礎）	WEBによる収録型動画配信	39 名
2024/4/2 ～4/3	聖ヨハネ会障害福祉部門 採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター	1 名
2024/5/13	食品衛生責任者養成講習会	立川ホテルエミシア	1 名
2024/5/15	生活寮・グループホーム等ネットワーク委員会 テーマ別グループ討議	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2024/5/19	制度改正 そこが知りたい！	東京都左官工業協同組合	1 名
2024/5/23	HACCPに関する講習会	東京都多摩府中保健所	2 名
2024/6/14	令和6年度 本人中心支援 (新任職員向け) 研修	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2024/6/24	強度行動障害支援アドバンス研修	牛込簞笥区民ホール	1 名
2024/6/27	令和6年度 第1回 虐待防止・権利擁護研修(身体抑制等適正化に向けた内容含む)	zoomによるオンライン研修	1 名
2024/7/5	いらいらしないためのアンガーマネジメント	社会医学技術学院 講堂	1 名
2024/7/16 ～9/6	令和6年度 東京都障害者虐待防止・ 権利擁護研修 一般職員コース	講義：オンデマンド配信 7/16～8/12 演習：zoomによるオンライン 個別	3 名
2024/7/17	施設職員が学ぶ 災害に向けた備え	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2024/7/18 ～2025/1/31	令和6年度(2024年)度 全7回 「強度行動障害支援アドバンス研修」	会場およびオンライン	1 名
2024/7/19 ～8/8	令和6年度強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	WEBによる収録型動画配信 7/31 演習：AP西新宿 8/8	1 名
2024/7/24 ～9/20	令和6年度 第1回 東京都サービス管理責任者基礎研修	講義：オンデマンド配信 7/24～8/1 演習：保健医療研修センターor 戸山サンライズ	1 名
2024/7/25 ～8/27	令和6年度「工賃アップセミナー基礎編」	東京都多摩障害者スポーツセンター 全3回 7/25 7/30 8/27	1 名
2024/7/26	支援者のメンタルヘルス	国立オリンピック記念青少年総合センター	1 名
2024/7/29	第9回ダウン症支援セミナー 「ダウン症の青年 期成人期支援のために必要なこと」	WEBによる収録型動画配信 第1部 7/29～8/1 第2部 8/3以降	3 名
2024/7/30	令和6年度 第1回 部内研修	小金井聖ヨハネ支援センター	10 名
2024/8/2 ・9/6	令和6年度 三年目職員研修	8/2 東京都左官工業協同組合 9/6 飯田橋セントラルプラザ	2 名
2024/8/1 ～2025/3/31	令和6年度「社会福祉法人・施設 会計実務研修会」	オンライン配信	1 名
2024/8/15 ～10/10	職場内研修担当者研修	WEBによる収録型動画配信	1 名
2024/8/15 ～10/10	採用力・広報力研修(入門編)	WEBによる収録型動画配信	1 名
2024/8/22	令和6年度 第2回 虐待防止・権利擁護研修 (身体抑制等適正化に向けた内容含む)	zoomによるオンライン研修	1 名
2024/8/28	身体拘束の身体弊害について	飯田橋セントラルプラザ	1 名

2024/8/30 ～10/2	令和6年度強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	WEBによる収録型動画配信 ～9/11 演習（集合型）：9・17 or 10/2	1 名
2024/9/13	令和6年度第1回合同学習会 知的障害者の中年期・高齢期の支援について	研究社英語センタービル	1 名
2024/9/14	みんなで作り上げるチームビルディング	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2024/10/1 ～10/2	令和6年度 初任者研修 既卒コース	東京都社会福祉保健医療研修センター	1 名
2024/10/1 ～12/31	令和6年度「東京都感染対策リーダー養成研修事業」 公開講座（オンデマンド動画研修）	オンデマンド配信	1 名
2024/10/8 ～10/28	第2回障害者グループホーム従事者基礎研修	オンデマンド配信	2 名
2024/10/18	聖ヨハネ会障害福祉部門 採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター	1 名
2024/10/18 ・11/8	「勇気づけ・尊敬・信頼・共感によるリーダーシップ」	10/18 シャローム南風 11/8 東京都左官工業協同組合	1 名
2024/10/28 ～10/29	障害福祉部門 職員研修	山中・雪の聖母修道院 (サレジオン・シスターズ)	2 名
2024/10/28 ～11/13	令和6年度強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	WEBによる収録型動画配信 ～11/8 演習（集合型）LINK FOREST 11/13	1 名
2024/11/6 ～12/25	福祉職のためのメンタルヘルス研修	WEBによる収録型動画配信	1 名
2024/11/8	～心通じる鍵がある～ 『強度行動障害者支援のこれから』	滝乃川学園・ オンライン	3 名
2024/11/15	職場で起こる暴力について考えよう	東京都左官工業協同組合	2 名
2024/11/20	令和6年度 多摩府中保健所 食品衛生実務講習会	調布市文化会館たづくり	4 名
2024/11/27	福祉施設における労務の基本確認と留意事項・情 報交換会	滝乃川学園	1 名
2024/12/12	令和6年 第3回 虐待防止・権利擁護研修 (身体抑制等適正化に向けた内容含む)	zoom によるオンライン研修	1 名
2024/12/12 ～2025/2/11	令和6年度 東京都サービス管理責任者実践研修	講義：オンデマンド配信 12/12～12/16 演習：：戸山サンライズ	3 名
2024/12/13 ～12/25	令和6年度東京都相談支援従事者専門コース別研修 <介護支援 専門員との連携> ～いくつになっても地域で安心して生活を送るために～	オンデマンド配信	1 名
2024/12/16	BCPの総点検と災害シミュレーション	zoom ミーティング	3 名
2024/12/18	「利用者の重度化・高齢化に伴う支援の取り組み から学ぶ」	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2025/1/14 ～2/5	令和6年度強度行動障害支援者養成研修 実践研修	講義：オンデマンド配信 演習：：オンライン&東京都福祉保健財団	1 名
2025/1/16 ～3/6	令和6年度 育成面談研修	WEBによる収録型動画配信	1 名
2025/1/16～3/6	令和6年度 アサーティブコミュニケーション研修	WEBによる収録型動画配信	2 名
2025/1/17	「意思決定支援（支援付き意思決定）に向けて現 場の支援で知っておきたいこと」	zoom ミーティング	1 名
2025/1/20	令和6年度 第2回 部内研修	清瀬聖ヨハネ支援センター	9 名
2025/1/20	『メンタルヘルスを良好に保ちながら働く方法』 ～利用者さんとの距離感を良好に保つ方法～	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2025/1/29	支援を楽しもう！！～取り組みたくなる個別支援 計画！楽しめる支援！伝えます！～	国立オリンピック記念青少年総合セン ター センター棟4F	2 名

2025/2/4	『お口からの健康について考える』 生活支援の悩みはなんですか？	zoom ミーティング	2 名
2025/2/5	「高齢化への取り組み～他施設の実践事例を聞く～」	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2025/2/11	安心して”暮らせる・託せる”居住支援とは	三鷹産業プラザ7階	1 名
2025/2/21	「令和7年度 新任職員向け研修」 フォローアップ研修	研究社英語センター	1 名
2025/2/22	アセスメントから始まる行動障害の特性理解 ～基礎・応用・事例から学ぶ行動障害～	滝乃川学園	1 名
2025/2/4～2/17	伝達研修	オンデマンド配信	39 名
2025/2/27	感染症研修	緑町 CV・オンデマンド研修	57 名
2025/3/10	ハラスメント研修	オンデマンド配信	56 名
2025/3/13 ～3/27	日常における口腔ケアや食事介助の実践	オンデマンド配信	2 名

拠点区分名：障害福祉部門 清瀬

XⅢ 事業所名	: 清瀬聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	: 生活介護事業

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (R6 年度)	利用率 (R5 年度)	利用率 (R4 年度)
生活介護	20 人	22 人	20.1 人	100.9%	102.6%	104%

平均年齢 48.6 歳 (最高 69 歳 最低 23 歳)

男女比率 13 名 (男子) : 9 名 (女子)

平均在所期間 9.10 年 (最長 11.5 年)

年間入所 2 名 年間退所 3 名

【職 員】

	令和 6 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						令和 7 年 3 月 31 日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	2	9	11						1	2	9	11
調理員		1	1								1	1
医師		1	1								1	1
看護師		2	2								2	2
合計	4	13	17						1	4	13	17

【施設運営状況】

2024 年度は、3 名の方が退所され、2 名の方が入所された。定員数 20 名は保たれ 21 名の方が利用されているが、利用率は 100%を切ることもあった。その為、新規入所の受け入れがあることを他事業所の相談支援や特別支援学校の先生に伝えている。

今年度は感染症のクラスターや閉鎖はなく予定通り開所でき、感染症対策を徹底しながら個別外出や開所記念日の全体としての外出も実行することが出来た。

【利用者支援状況】

2024 年度は利用者の退所や入所が見られたが、利用者新しく入所された方やすでに利用されている方の混乱はなくスムーズに通所できていた。また、イベントに関しても地域のお祭りやセンターでの外出も多く利用者の方より「楽しい」などの良い言葉が多く聞かれた。

日々の活動についてはハガキ作りや創作活動など通常通りの作業が行え、創作活動ではボラン

ティアの方の協力で国分寺のカフェでの展示会や市で共催した展示会など多くの場所に展示することが出来、利用者の方の作業に対するモチベーション向上の一つになったと感じる。また、作業だけではなく散歩や体操などの活動も行い、高齢の利用者の方や身体に麻痺のある利用者の方に対し体力維持や身体機能の維持に繋がる取り組みを行った。

【施設整備状況】

- ・ 厨房 換気扇設置
- ・ 厨房 ミニコン修理
- ・ 車輛（ハイエース）購入
- ・ タブレット PC 購入

XIV 事業所名 : 清瀬聖ヨハネケアビレッジ（4ユニット）
サービス区分名 : 共同生活援助事業（介護サービス包括型）

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R6年度)	利用率 (R5年度)	利用率 (R4年度)
下清戸1	7人	7人	6.9人	99%	100%	100%
下清戸2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
中清戸1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
中清戸2	7人	7人	6.7人	96%	94%	100%

平均年齢 50.3 歳（最高 69 歳、最低 23 歳）

男女比率 14（男性）： 14 名（女性）

平均在所期間 11.7 年（最長 18.11 年）

年間入所 2 名 年間退所 3 名

【職 員】

	令和 6 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						令和 7 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	8	18	26			2	1	2	1	8	19	27
合計	10	18	28			2	1	2	1	10	19	27

【施設運営状況】

今年度は清瀬聖ヨハネケアビレッジとして 3 名の方が退所され 2 名の方が入所された。空い

ている部屋に関しては、入所も決まっている。運営としては可能な限り素早く行動し空きの期間が短くなるようにした。

中清戸ＣＶ、下清戸ＣＶともに建物や設備の老朽化が見られ始めている。可能な限り素早く修繕しているが直しても別の場所に不具合が生じている。

【利用者支援状況】

昨年度に続き感染症対策を行う。今年度はコロナ・インフルエンザともにクラスターは発生せずにいたが、２月の中旬に下清戸にて発熱者が複数名出た。幸い２月中で落ち着き普段の生活に戻ることが出来た。

利用者の重度高齢化は進んでおり、利用者個々に適した住処を探していくケースも出てきた。また、国の方針として 65 歳から介護保険サービスへ移行することからご家族や関係機関と連携を取りながら利用者個々に適した住処を探しているが、ご家族の希望する条件の場所が見つからないことや、見つかった場合でも他事業所に入所できないなどスムーズに行かないことが見られる。早め早めの対応をしながらスムーズに移行できるようにしていく。

今年度は２名の退所・入所があり職員も新しい利用者が安心して暮らせるよう工夫して支援していた。日中サービスが休みの日は移動支援を活用しコロナ前の状況に戻れるよう取り組んだ。今後は、利用者の高齢化やコロナ前のような社会資源を利用したい。

【施設整備状況】

- ・下清戸 LED照明 18 台交換
- ・下清戸 2F 浴室換気扇交換
- ・下清戸 1F IHコンロ交換
- ・中清戸 カーブミラー設置

XV 事業所名	: 清瀬聖ヨハネ短期入所
サービス区分名	: 短期入所事業

【2024 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (R6 年度)	利用率 (R5 年度)	利用率 (R4 年度)
短期入所	2 人	—	0.49 人	24.9%	20.9%	12.8%

昨年度に引き続き感染症対策をしながら男性 1 床・女性 1 床で運営。男性は定期的に利用されている方がいるが、女性は利用が少なく。年単位で見ると男女ともに利用率が低い。その為、今後は短期入所を行っていることの周知や様々な方に利用して頂き利用率の向上を図っていききたい。

【教育研修】 清瀬

日時	研修名	会場	出席者
2024/4/1 ～9/30	日本知的障害者福祉協会 オンデマンド研修 第5期 障害のある方への支援（基礎）	WEBによる収録型動画配信	40 名
2023/4/13 ～4/14	防火・防災管理新規講習	東京消防庁立川都民防災教育センター	1 名
2023/5/1 ～5/2	防火・防災管理新規講習	東京消防庁立川都民防災教育センター	1 名
2024/6/27	令和6年度 第1回 虐待防止・権利擁護研修（身体抑制等適正化に向けた内容含む）	zoomによるオンライン研修	1 名
2024/7/16 ～9/6	令和6年度 東京都障害者虐待防止・ 権利擁護研修 一般職員コース	講義：オンデマンド配信 7/16～8/12 演習：zoomによるオンライン 個別	1 名
2024/7/16 ～9/3	令和6年度 東京都障害者虐待防止・ 権利擁護研修 管理者コース	講義：オンデマンド配信 7/16～8/12 演習：zoomによるオンライン 9/3	1 名
2024/7/17	施設職員が学ぶ 災害に向けた備え	飯田橋セントラルプラザ	2 名
2024/7/24 ～9/20	令和6年度 第1回 東京都サービス管理責任者基礎研修	講義：オンデマンド配信 7/24～8/1 演習：保健医療研修センターor 戸山サンライズ	1 名
2024/7/28	てんかん市民公開講座 「てんかんについて知ろう！」	zoomによるオンライン研修	1 名
2024/7/29	第9回ダウン症支援セミナー 「ダウン症の青年 期成人期支援のために必要なこと」	WEBによる収録型動画配信 第1部 7/29～8/1 第2部 8/3以降	1 名
2024/7/30	令和6年度 第1回 部内研修	小金井聖ヨハネ支援センター	4 名
2024/8/4	令和6年度普通救命講習	清瀬消防署	2 名
2024/8/15 ～10/10	職場内研修担当者研修	WEBによる収録型動画配信	1 名
2024/8/21	聖ヨハネ会障害福祉部門 採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター	1 名
2024/8/22	令和6年度 第2回 虐待防止・権利擁護研修 （身体抑制等適正化に向けた内容含む）	zoomによるオンライン研修	1 名
2024/8/28	身体拘束の身体弊害について	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2024/8/30 ～10/2	令和6年度強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	WEBによる収録型動画配信 ～9/11 演習（集合型）：9・17 or 10/2	2 名
2024/9/13	令和6年度第1回合同学習会 知的障害者の中年期・高齢期の支援について	研究社英語センタービル	1 名
2024/9/14	みんなで作り上げるチームビルディング	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2024/9/17	第18回東京大集会 『くらしの場を選ぶこと』	YouTube ライブ	1 名
2024/9/25 ～10/16	令和6年度強度行動障害支援者養成研修 実践研修	講義：オンデマンド配信 演習：オンライン&東京都福祉保健財団	1 名
2024/9/30	知的障害・発達障害・自閉症のある人を理解する 疑似体験	飯田橋セントラルプラザ	2 名
2024/10/1 ～12/31	令和6年度「東京都感染対策リーダー養成研修事業」 公開講座（オンデマンド動画研修）	オンデマンド配信	1 名
2024/10/5	令和6年度普通救命講習	所沢消防署	1 名
2024/10/8 ～10/28	第2回障害者グループホーム従事者基礎研修	オンデマンド配信	1 名
2024/10/28 ～10/29	障害福祉部門 職員研修	山中・雪の聖母修道院 （サレジオン・シスターズ）	1 名

2024/11/8	-心通じる鍵がある- 『強度行動障害者支援のこれから』	滝乃川学園 オンライン	1 名
2024/11/8 ～11/28	令和6年度障害者グループホーム管理者研修 第2回	オンデマンド配信 11/8～11/28 集合研修 12/2	1 名
2024/11/15	職場で起こる暴力について考えよう	東京都左官工業協同組合	1 名
2024/11/15	聖ヨハネ会障害福祉部門 採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター	1 名
2024/11/11	令和6年度 虐待防止研修	清瀬市役所	2 名
2024/11/20 ～12/27	令和6年度強度行動障害支援者養成研修 実践研修	講義：オンデマンド配信 演習：オンライン&東京都福祉保健財団	1 名
2024/12/16	BCPの総点検と災害シミュレーション	zoom ミーティング	2 名
2024/12/18	「利用者の重度化・高齢化に伴う支援の取り組みから学ぶ」	飯田橋セントラルプラザ	1 名
2025/1/16 ～3/6	令和6年度 育成面談研修	WEBによる収録型動画配信	1 名
2025/1/17	「意思決定支援（支援付き意思決定）に向けて現場の支援で知っておきたいこと」	zoom ミーティング	1 名
2025/1/20	令和6年度 第2回 部内研修	清瀬聖ヨハネ支援センター	5 名
2025/2/22	アセスメントから始まる行動障害の特性理解 ～基礎・応用・事例から学ぶ行動障害～	滝乃川学園	1 名
2025/2/4 ～2/17	伝達研修	オンデマンド配信	40 名
2025/2/27	感染症研修	緑町 CV・オンデマンド研修	37 名
2025/3/10	ハラスメント研修	オンデマンド配信	40 名
2025/3/13 ～3/27	日常における口腔ケアや食事介助の実践	オンデマンド配信	3 名

2. 高齢福祉部門

【事業概況】

2024 年度においても①桜町聖ヨハネホームの運営の立て直し ②在宅サービスセンター事業の選択と集中 ③桜町聖ヨハネホームの建て替えに向けた検討 この3つの大きな方針のもと事業運営に取り組んだ。

① の人財の確保・定着という視点において一定の職員採用・人財育成により施設運営に影響を及ぼすような状況ではないが、派遣職員や日雇い労働者に頼ることから抜け出せておらず引き続き財務を圧迫しており、組織体制の見直しや組織的な職員教育という点においてもなかなか進んでいないが、人事考課導入に向けたプロジェクトチームの立ち上げや介護係に教育育成担当者を配置し、働きがいのある職場風土づくりや統一したケアの実践等の実現に向けて取り組み始めている。

② について、本町高齢者在宅サービスセンターの次期指定管理協定（R8～R12）に向けては、事業継続の方針のもと小金井市と協議を継続しているが、食の自立支援事業（市配食事業）は、民間事業者へ委託することに決定している。また、桜町高齢者在宅サービスセンターの事業については、ヨハネホームの建て替えの状況もふまえ、訪問入浴事業の存続の是非など、選択と集中を検討している。

③ については、老朽化した桜町聖ヨハネホームと桜町高齢者センターの建替えについては引き続き検討した。居ながら工事や近くに土地を用意しての工事は不可能と判断、清瀬の建替え促進施設を利用する方針とし、東京都の説明会・見学会に参加、借受申込の準備をすすめている。施設整備補助金の申請など、今後建替え向けて様々なアクションが必要となり、確実かつ的確にすすめる必要がある。

桜町聖ヨハネホームおよび本町高齢者在宅サービスセンターの利用率が大変厳しい状況にある。感染症や職員不足の問題、小金井市の指定管理委託の問題など低迷の要因は明確だが、今後の建替えや事業運営において利用率の向上（収入の増加）は必須であり、全職員に数値目標や回復曲線を明確に示したうえで一丸となって取り組む必要がある。

桜町聖ヨハネホームでは、2024 年度クラスター的なコロナ感染が2度発生、疥癬という感染症も発生し今後も感染症との戦いは続くが、コロナ化で遮断せざる得なかった高齢福祉部門間での研修や会議、職員交流を積極的に再開し、施設間の問題共有や状況理解が少しずつ進んでいることを実感している。

I 桜町聖ヨハネホーム

(指定介護老人福祉施設・短期入所生活介護)

【2024 年度 利用状況報告】

種 別	定 員	1 日平均 利用者数	利用率 (2024 年度)	利用率 (2022 年度)	利用率 (2021 年度)
介護老人福祉施設	106 名	80 名	75.5%	86.0%	86.6%
短期入所生活介護	4 名	4 名	50.3%	72.5%	90.5%

平均年齢 87.4 歳 (最高 106 歳、最低 70 歳)

男女比率 1 : 10 (2025 年 3 月 31 日現在 : 85 名 内 入院 4 名)

平均在所期間 3 年 6 ヶ月 (最長 17 年 6 ヶ月)

年間入所 19 名 (2023 年度入所 : 25 名・2022 年度入所 : 45 名・2021 年度入所 : 25 名)

年間退所 26 名 (2023 年度入所 : 28 名・2022 年度入所 : 50 名・2021 年度退所 : 26 名)

【職 員】

	2024 年 3 月 31 日 の職員数			年間入職・退職						2025 年 3 月 31 日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				入職	退職	入職	退職	入職	退職			
施設長	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
医 師	0	4	4	0	0	1	1	1	1	0	3	3
生活相談員	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3
介護支援専門員	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2
介護職員	20	11	31	6	6	7	5	11	12	20	13	33
看護職員	3	1	4	4	2	1	1	5	3	2	2	4
機能訓練指導員等	1	1	2	2	2	0	0	2	2	1	1	2
管理栄養士	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2
調理員	5	6	11	0	1	1	0	1	1	4	6	10
事務職員	2	2	4	1	1	1	1	1	2	1	1	2
生活サポート	0	8	8	0	0	7	5	7	5	0	10	10
用務員	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1
合 計	37	36	73	13	12	19	14	29	27	34	39	73

※上記表には管理宿直員含まず

※派遣職員 2025 年 3 月 31 日現在 6 名

※日雇職員 2024 年度 延べ 1268 名

【施設運営状況】

● 財務状況について

(単位：千円)

	2024 年度	2023 年度	2022 年度	2021 年度	2020 年度
当期資金収支差額	16,909	▲2,121	▲29,582	10,287	▲14,351
当期事業収支差額	▲26,492	▲16,308	▲46,072	▲1,513	▲28,559
人件費率	87.2%	81.8%	82.4%	74.7%	80.4%
修繕費	4,427	3,748	3,569	5,908	3,552
減価償却費	38,756	34,123	29,188	28,435	27,184

2024 年度は資金収支会計で約 16,909 千円の黒字ではあるが、これはヨハネホームへの寄付金の取崩し 30,000 千円および拠点区分間の長期借入金収入 20,000 千円によるものであり、実質は約 33,000 千円の赤字決算であったといえる。事業活動収支会計は約 26,492 千円の赤字決算となっている。

運営方針としては入所促進をはかり、106 名定員に対して 100 名の入所者を目指し収入増に取り組んだが、職員補充や定着が思うようにすすまず、感染症の発生により入所を制限する事体が発生したことが原因で目標利用率には遠く及ばず、年間平均で約 80 名の入所者数、平均利用率 75.5%となってしまった。

支出増の要因としては、職員補充を人材紹介や人材派遣、日雇い労働者に頼らざるを得ない状況から脱却できず、多額の派遣職員費を計上したことによるものが大きく、修繕費についても老朽化により引き続き様々な修繕による支出が必要になっている。

ここ数年の最大の課題である財務の改善については、まず利用率の向上が必須と考えており、数値目標を立て計画的に入所をすすめることを共通の約束事としている。同時に派遣職員費の削減については、ケアの統一やりがいいのある職場環境づくりをおこなうための人事考課を取り入れ、人材の定着⇒経費の削減につながる取組みをすすめている。

【利用者支援状況】

〔施設目標〕 桜町聖ヨハネホームを生活の場とされているご利用者様の多様化するニーズに対応したサービスを多職種連携の下、誠意をもって提供する。(サービス)

住み慣れた地域で生活をしていきたい、ヨハネホームで生活したいと希望されて入所されるご利用者様とご家族の思いを受け、職員がそれに添えていく。ご利用者様を中心におき、適切な支援とは何かをしっかりと考えて、多職種連携して、適切な支援に繋がれたケースが多くなかったと反省する。組織として情報共有できる環境を生み出せていなかったこと、職員が多角的に思考して業務に取り組める環境づくりが不十分であったことが要因として挙がる。ご利用者のニーズに応える中で、職員全員がお互いの思いやりを感じ、考え、共有することで、ご利用者のケアに繋がり、ご利用者の安心感にも繋がる。そういった状況を数多く生み出せるよう、ひとつひとつ丁寧かつ効果的に対応していきたい。

また、地域の保育園や小中学校、一般ボランティアの受け入れを少しずつ行えるようになったが、更に地域のニーズに応えられるよう図っていきたい。

【特記事項】

〔Ⅰ〕緊急ショートステイの受け入れについて

ご利用者は女性 7 名、男性 14 名の計 21 名。延べ利用日数は 143 日であった。

(前年度 女性 10 名、男性 5 名 計 18 名 延べ利用日数 135 日)

主な利用目的は、介護者の急な入院や手術など、介護者が不在になったケースが多くあった。他の利用目的として、家庭内暴力からの一時避難、本人の体調不良による ADL の急激な低下で家族が介護できない、認知症が進み独居が厳しくなった等が挙がる。

家庭内暴力から一時避難をしたことでご本人とご家族と程よい距離感が保たれて、介護者のストレス緩和が図られた様子がある。その結果、その後のショートステイ繰り返し利用してくださる等、サービスにつながったケースもみられた。

〔Ⅱ〕入所ご利用者の寝たきり度・認知症自立度について 2025. 3. 31 現在 単位(人)

寝たきり度

	J	A	B	C			計
男性	1	4	8	1			12
女性	0	21	39	11			73
合計	1	25	47	12			85

「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準」

ランク J 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。

ランク A 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出できない。

ランク B 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体である。

ランク C 1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。

認知症自立度

	自立	I	II	III	IV	M	計
男性	0	2	7	2	1	0	12
女性	1	5	20	34	12	1	73
合計	1	7	27	36	13	1	85

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」

ランク I 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

ランク II 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

ランク III 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。

ランク IV 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。

ランク M 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

〔Ⅲ〕入所ご利用者の要介護度の状況について（前年度末：比）

	《2024. 3. 31 現在》	《2025. 3. 31 現在》	
	男 性	男 性	前年同日比増減
要介護 1	0 名	0 名	±0 名
要介護 2	1 名	0 名	－1 名
要介護 3	3 名	6 名	＋3 名
要介護 4	2 名	2 名	±0 名
要介護 5	6 名	4 名	－2 名
合 計	12 名	12 名	±0 名

	《2024. 3. 31 現在》	《2025. 3. 31 現在》	
	女 性	女 性	前年同日比増減
要介護 1	2 名	1 名	－1 名
要介護 2	5 名	6 名	＋1 名
要介護 3	15 名	10 名	－5 名
要介護 4	32 名	32 名	±0 名
要介護 5	27 名	24 名	－3 名
合 計	82 名	81 名	－1 名

【栄養部の取り組み】

2024 年度に、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し色々と緩和されているが、ご家族との面会や外出はまだ制限されていた。その中で栄養係として何が出来るかを検討した。その結果、ご利用者様の健康面では栄養の充実を、生活面では食の楽しみを意識しイベント等も企画・実施した。

また昨年に引続き、同法人桜町病院の言語聴覚士等の多職種と連携し、適切な嚥下状態の確認、適切なとろみの提供を行い、誤嚥性肺炎の予防、低栄養高リスク者の減少など ADL の維持に繋がるように努めた。

◎ご利用者様の生の声を聴くために、利用者懇談会での聞き取りや、満足度アンケートを実施。集計をして日々の献立に反映させた。

◎日々の食事を安心・安全に留意ながら提供を行った。またご利用者様の栄養状態を把握し、多職種と連携し食事面からもサポートした。

◎手作りケーキを数種類とコーヒーや紅茶を提供するさくらカフェを出来る限り回開催した。コロナ化で外出制限などのストレスを少しでも緩和出来るようにと始動し、毎回大変喜ばれている。

また、カフェが開催出来ない時はドリンクバイキングをしたり工夫を凝らした。

◎加算取得は、多職種と連携し継続して取り組めた。

【施設整備状況】

- 建設後 38 年を超え、ライフライン関連で高額な設備機械の更新や修繕費対応が近年続いている。
- 耐用年数を超過したものも多く、今期は中でも極めて優先順位の高い設備機械の工事・更新を下記の通り実施した。
 - ・浴室中間ダクトファン交換工事を実施

- ・エレベーターリニューアル工事を実施
- ・ノートパソコン購入
- ホームの建物・機械・設備については大規模修繕か全面改築かの判断と実施が喫緊の課題であるが、現存の短期的な修繕・機械設備管理についても財源的な制約もあり今後は十分な検討と実施が必要な状況となっている。

1. 主な固定資産取得（器具及び備品・車輛運搬具）

- 4月 エアコン（51台）設置工事 30,010,000円
- 6月 冷蔵庫購入（1階CW室） 148,030円
- 7月 除湿器購入（地下厨房） 128,799円
- 12月 ノートパソコン8台購入（霞会館助成金） 792,000円

2. 主な修繕費支出

- 4月 キューピクル増設工事 9,900,000円
- 5月 コンビオープン修理 180,070円
- 6月 PAS交換工事 990,000円
- 7月 浴室ダクトファン交換工事 891,000円
- 8月 給湯2次ポンプ交換工事 233,200円
- 9月 天井修理（ふじ1号室） 205,700円
- 1月 1階汚物除去機漏水修理 116,160円
- 2月 2階汚物処理室流し台配管工事 132,000円
- 3月 非常放送AMPバッテリー交換 179,300円

【労災状況等】

◎通勤労災 2件（捻挫・自転車転倒）

【研修参加及び実施状況】

<外部研修>

No.	研修名	主催	場所	日程	参加者
1	介護報酬改定研修	東京都社会福祉協議会	配信	4月	事務
2	介護報酬請求事務	東京都社会福祉協議会	配信	6月	事務
3	栄養士のため介護報酬改定と栄養評価基準について	東京都社会福祉協議会	配信	6月	栄養士
4	栄養士の為の情報交換会	東京都社会福祉協議会	研究者英語センタービル	9月	栄養士
5	機能訓練指導員研修	東京都社会福祉協議会	研究者英語センタービル	2月	機能訓練
6	介護福祉実習指導者講習会	ハッピー&スマイル	配信	9/8～	各係主要メンバー

<施設内研修>

1		
感染症、食中毒の予防（感染症対策）	6 月	全職員
2		
自然災害に関する防災訓練（BCP）	6 月	全職員
3		
ハラスメント防止研修	9 月	全職員
4		
高齢者虐待防止研修	1 2 月	全職員（参加可能者）
5		
感染症に関する防災訓練（BCP）	2 月	全職員
6		
事故等に関する研修（リスクマネジメント）	3 月	全職員

Ⅱ 桜町高齢者在宅サービスセンター

通所介護・訪問介護・訪問入浴介護・居宅介護支援・小金井市委託事業
 栄養事業（給食・食の自立支援）
 小金井きた地域包括支援センター（小金井市委託事業・介護予防支援）

【2024 年度利用状況報告】

種別	種別	定員	年間 延定員	延べ利用 者数	1日平均 利用者	利用率 (2024年)	利用率 (2023年)	利用率 (2022年)
介護保険事業	通所介護 (一般)	35名/日	10,710	7,442	24.3	69.5%	64.5%	62.1%
	通所介護 (認知)	24名/日	7,344	4,446	14.5	60.5%	59.6%	63.0%
	通所介護 (総合事業)	7.5名/日	2,930	1,815	7.5	60.1%	60.1%	58.7%
	訪問介護	90名/週	4,590	4,001	13.1	87.2%	99.0%	82.1%
	訪問入浴	4名/週	204	210	4.1	85.6%	85.6%	117.3%
	居宅介護支援	165件/月	1,980	1,912	159.3/月	96.6%	101.1%	102.1%
	予防・総合事業 プラン	310件/月	3,720	4,179	348.3/月	112.3%	109.9%	106.1%
栄養事業	給食	38食	11,628	11,888	38.8	102.2%	97.7%	96.4%
市委託事業	やすらぎ支援	年間延派遣回数 32回 利用者数 4名 支援員登録数10						

【利用者の動向】

通所介護・認知症通所介護の要介護度の状況

① 通所介護（一般・総合事業）

2024年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	452	1,796	1,294	3,939	1,839	1,229	359	0	10,908
割合	2.9%	11.3%	7.6%	42.2%	20.2%	11.2%	4.6%	0.0%	100.0%
2023年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	250	982	660	3,660	1,750	970	396	0	8,668
割合	2.9%	11.3%	7.6%	42.2%	20.2%	11.2%	4.6%	0.0%	100.0%

② 認知症対応型通所介護

2024年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	576	1,070	1,306	896	598	4,446
割合	0.0%	0.0%	21.2%	29.8%	18.1%	13.6%	17.3%	100.0%
2023年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	930	1,310	795	595	758	4,388
割合	0.0%	0.0%	21.2%	29.8%	18.1%	13.6%	17.3%	100.0%

【職員】

	2025 年 4 月 1 日			年間退任・就任						2024 年 4 月 1 日		
	の職員数			正職員		非常勤職員		合計		の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	就任	退任	就任	退任	就任	退任	正職員	非常勤職員	合計
センター長	1 名		1 名							1 名		1 名
事務長			0 名									0 名
介護員	1 名	12 名	13 名			2		2		1 名	10 名	11 名
相談員	10 名	1 名	11 名	1	1			2	1	10 名	1 名	11 名
看護師		6 名	6 名								6 名	6 名
介護支援専門員	3 名	4 名	7 名							3 名	4 名	7 名
訪問介護員		7 名	7 名				1	0	1		8 名	8 名
運転員		4 名	4 名			1	1	1	1		4 名	4 名
栄養士	3 名	1 名	4 名	1				1		2 名	1 名	3 名
調理・補助・宅配		3 名	3 名				1		1		4 名	4 名
機能訓練指導員		2 名	2 名								2 名	2 名
事務員		2 名	2 名								2 名	2 名
高齢住宅管理人		6 名	6 名								6 名	6 名
清掃員		3 名	3 名			1		1			2 名	2 名
合計	18 名	51 名	69 名	2	1	4	5	6	6	17 名	50 名	67 名

【施設運営状況】

(1) 財務について

2024 年度も財務改善に向けて利用率回復・維持に取り組んだ。ここ数年みられた感染症による利用率への影響は、ほとんどみられなかった。

センター事業の選択と集中を推進し、訪問介護の適正規模での営業、訪問入浴事業の縮小化、通所介護事業の強化を実施し事業の効率化・人材の有効活用を進めた。

桜町センター全体の事業活動収入は 284,181 円で、2023 年度値 264,175 千円に対してプラス 20,006 千円の収入実績であった。

事業活動支出は 270,388 千円で、2023 年度値 259,278 千円に対して 11,110 千円の支出増であった。これは処遇改善手当による賃金増が影響している。

結果、2024 年度桜町高齢者在宅サービスセンター事業全体の当期資金収支差額は 9,335 千円の黒字、当期活動増減差額は 6,795 千円の黒字となった。

収支状況の総括は下記の通りである。

- ① 一般型通所介護事業の利用率の安定（積極的な受入の実施）による収入増
- ② 予防プラン件数の増加による収入増
- ③ 認知症対応型通所介護の利用率の伸び悩み（SS 利用や入所が原因）
- ④ 訪問介護事業の人員不足による利用率の低迷
- ⑤ 処遇改善手当増額による人件費増
- ⑥ 水光熱費、燃料費、給食費（食材費）の高騰

(2) 組織力向上・人材育成への取り組み

組織力向上・人材育成については、経営会議・運営会議・職員会議を中心に職員面談や様々な場面での OJT を通して取り組んできたが、係間や職員間の組織的な連携が不足している点は引き続き大きな課題である。今後は人事考課プロジェクトを立ち上げ、組織力強化・人材育成に取り組んでいく。

- 1) センター長による職員面談の実施
- 2) 係長による職員面談の実施
- 3) 職員会議での課題に対するグループワーク
- 4) フィットティングサポートの継続的实施
- 5) 小金井市介護事業者連絡会への参加
- 6) 永年勤続表彰の実施
- 7) 経理・総務業務の法人本部への統合

(3) サービスへの取り組み

※【利用者支援状況で取り上げ】

【利用者支援状況】

(1) リスクマネジメント

1) 利用者事故発生事例

報告すべき大きな事故の発生はなかった。

2) ヒヤリハット

通所介護係では、2024 年度も年間を通してヒヤリハット事例を報告し、ミーティング内で事例の共有・改善策を話し合ってきた。2024 年度に事例として挙げたヒヤリハットの分類と件数は下記の通りである。

- ・送迎（10 件） ・入浴（1 件） ・転倒・移動（11 件） ・服薬（2 件）
- ・食事（6 件） ・物品返却忘れ（3 件） ・他（14 件）

※事例の共有・改善策の実施は、事故や苦情を未然に防いでいると考えられる。また、職員の責任感や緊張感をもった対応にもつながっている。

3) 苦情

- ・記載するレベルの苦情はなし。

4) 感染症について

① 施設としての感染予防対応

- ・ご利用者様受入れの際の感染症予防対策の実施
- ・職員健康管理の徹底
- ・外部事業者・ボランティア等入館時の健康状態確認
- ・新型コロナ感染症マニュアルの更新
- ・抗原定性検査キットによる集中的検査実施（上半期）

② 感染事例

- ・2025 年度は、新型コロナ感染症やインフルエンザによるクラスター的なことは発生しなかった。引き続き職員自身の健康管理、ご利用者の健康把握、他感染症予防対策につとめ、事業運営の支障が出ないように対応していく。

(2) サービスへの取り組み

施設重点取組事項の振り返り

1) 通所介護・受託事業係

① 一般型通所介護・認知症対応型通所介護・総合事業通所型サービス

- ・入浴希望のある方の受入れ、手づくりの温かい昼食提供をアピールポイントに掲げ、積極的な新規利用者の受入をおこなった。一般型通所介護では、安定して新規依頼があり、比較的高い利用率を達成することができた。認知症対応型通所介護においては、重介護が必要な方も多く、入院・入所・ショートステイ利用、ご本人の利用拒否などの理由目標数値を下回った。
- ・利用率を可視化することと、毎月行われる常勤ミーティングで共通認識をもつことで常に利用率や利用人数を意識して受入れをする姿勢は養われている。
- ・「イベントボランティア」や「活動ボランティア」の受入れは、ご利用者の愉しみや満足度向上に繋がるため積極的な受け入れを実施した。
- ・自主的に考え行動できる職員と指示待ち職員との差が目立ち、人材育成については課題が多い。まずは職員間のコミュニケーションを充実させることが必要と考えており、年間を通して実施してきたミーティングでの課題に対するグループワークを充実させたい。
- ・業務の効率化、役割分担の明確化、指示命令系統の統一など、生産性を向上させるための取り組みの必要性を感じる。

② 地域支援事業（小金井市受託事業）

<やすらぎ支援事業>

2024 年度末現在 6 名のやすらぎ支援員が登録しており、うち 2 名が訪問活動中である。現在 2 名のご利用者様が事業を利用されている。感染症予防対策を講じながらご利用者様のご自宅を訪問しての見守り、傾聴を実施した。また支援員とは、担当職員が常にご利用者様の状況確認や指導、情報交換を行っている。

また、認知症サポーター養成講座の事務局機能も委託されており、適切なオレンジリング・テキストの在庫管理、カードの発行作業を行った。

<家族介護教室>

「介護される高齢者の気持ちを考えよう」をテーマとして 3 月 19 日に 5 名の方が参加され開催した。介護を受ける体験をとおして、介護される方の気持ちを考える良い機会となった。

<サブスタッフ養成・活動事業>

サブスタッフ養成事業」を 10 月～12 月に開催し、6 名の方が受講され今後サブスタッフとしての活躍が期待される。

サブスタッフ活動については、今までに養成講座を卒業された計 3 名の方が、桜町センター総合事業通所型サービスの「サブスタッフ」として、ご利用者様支援のための活動を行った。

③ グリーンタウン高齢者住宅管理（小金井市受託事業）

現在 70 世帯 85 名の入居者を対象に管理人 6 名で、月曜～土曜の日中帯に巡回や安否確認の管理業務を行っている。管理人とご入居者様との信頼関係は良好で、関係機関とも連携を密にとることで安全に安心して生活できる環境づくりに貢献出来た。

2) 訪問サービス係

① 訪問介護事業

- ・法令順守の上、対応が必要なニーズについてはケアマネージャーと相談の上、計画書にサービス内容として記載の上、利用者ニーズに応えることができた。
- ・猛暑や感染症流行時による中止を除き、ヘルパー検討会の勉強会は7回開催できた。高齢者部門の全体研修と合わせると研修自体は10回を超える。処遇改善加算取得条件クリアをモチベーションにしての所内研修増回であったが、ヘルパーが顔を合わせて知識を共有し意見交換を行う機会は相互に必要と感じられた。毎年同じような研修内容になる可能性が高いが時勢に応じた内容にアップデートしていきたい。
- ・月別で利用率70%台の落ち込みは、多くサービス利用されている方々が入院や死亡、感症などにより同時期に利用中止になったことが要因。ほぼフルタイムのヘルパーの派遣先のため、この利用率落ち込みによる登録ヘルパーの仕事への影響はない。フルタイムヘルパーの派遣空き時間を活用して通所介護入浴サービスの補助を実施。

② 訪問入浴介護事業

- ・年度末現在で、看護3名、介護3名のスタッフで運営維持。
2025年3月末時点で利用者3名。月午後と金終日の1.5日で稼働中。
機材や車両は消耗に応じてメンテナンスを行っている。
機材や車両が安全に衛生的に使用継続できるように5S活動を意識していく。
- ・緊急的、突発的なニーズはなし。
新規相談は中止しているが事業休止している訳ではないため現在も新規相談がある。

3) 居宅介護支援係

- ・研修計画でテーマを決めて出席することになっていたが、テーマに添うことよりもその時々出席可能な研修に出る、という形になってしまった。全体の雰囲気として通常業務が忙しいという理由で、研修参加には消極的だった。
- ・法人内事業所や地域の事業者と連携については、連絡ミスなどがあったが改善方法についてはなかなかよい案がない状況のままであったが、小平の居宅介護支援事業所と懇親会も兼ねて事例検討会を実施した。
- ・目標プラン件数に対して通年で98%ほどだった。職員の体調不良や家族の事情等で受け入れを抑制する時期があったことも影響していると思われる。他法人仕様の業務チェックリスト書式を試してみたが、事業規模が異なり効率的ではなかったので従来の書式を継続することにした。

4) 地域包括支援係 (小金井きた地域包括支援センター)

① 「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう関係機関と連携し支援する」ことに関して

- ・医療と介護の連携会議、研修、講演会には極力参加し、横のつながりを大事にした。
- ・「新聞が数日溜まっている、ここしばらく姿を見ない」等の情報が入った際には、実態把握で訪問。家の中で動けなくなっているところを発見。認知症の進行によりセルフネグレクト状態に陥り救急搬送、緊急ショートへ繋ぐこともあった。住民、民生委員からの通報、情報提供はとても有効だった。日頃より「何かあったら連絡を」「ちょっとした困りごとは包括へ」の声掛けが早期発見に繋がった。

②「効率的に業務を進められるよう、コミュニケーションを大切にし、働きやすい職場を目指す」ことに関して

- ・長期休職、退職の職員の欠員補充ができず、少ない人数で市の委託事業、ケアプラン作成、総合相談をこなさなければならず、職員の負担は大きかった。
- ・個々の業務の進捗状況を確認しつつ、各々が仕事の優先順位を付けてできる限り勤務時間内で効率よく業務をこなそうと努力した。
- ・皆がオールラウンドプレイヤーとはいかず経験値、力量を考慮して無理なく業務にあたれるよう面談などで進捗状況を確認した。共に考え解決への糸口を見つけられるような指導を心がけた。不安や疑問を抱えたままにせず、困ったら相談する、できる職場環境になってきたと感じた。

③「安心して過ごせる居場所づくりと運営が円滑に行えるよう支援する」ことに関して

- ・感染予防に配慮しながら通いの場への顔出しは行った。
- ・昨年度に引き続き「暮らしの講座」を開催。今年度は『防災』をテーマに計3回開催した。年代に関係なく関心のあるテーマのため、講座は盛況だった。町会、自治会とも連携し避難所設営訓練や給水所の見学なども参加した。
- ・公式 LINE で地域の活動、講演会、暮らしに役立つ情報を発信した。
- ・「オレンジカフェ」の参加者も毎回20名を超え盛況。ただし毎回イベント的なことを行うことが職員の業務負担となり、温かいお茶や菓子の提供を今年度までとした。令和7年度からはペットボトルでの提供に変更する。

④「利用者・家族の顕在化していないニーズを掘り起こし、適切なサービスに繋ぐ」ことに関して

- ・ケアプランに関し、本人・家族の希望をただ具現化するのではなく、専門職として必要と思われるサービスの提案を行っていった。介護保険も一般的に知れているが身近な問題となった時にどう進めていいかも分からない人もまだ多数いる。利用できるサービス、縛りもあることなど説明しプランの適正化にも務めた。

④総括

プラン数の増加、処遇困難ケースの対応、休職者のカバー、年度途中での病欠及び退職もあり、前年度に比べ業務量は大幅に増えた。事業を担当していない職員にはプランを多く担当してもらうなどしたが、後半は厳しい状況に陥った。

認知症の進行でゴミ屋敷化し、身動きできなくなっている高齢者の通報も増え、市長申し立てでの成年後見制度の利用も増え関係機関との連携も多かった。

地域との連携も日頃からの顔出しにより横のつながりも深まってきた。

緊急対応時にヨハネホーム、桜町病院との連携も増え、同一法人である強みを感じた。ただしホームに依頼する際、いろいろ条件が厳しくなっている点話し合いの場を設けるなどして法人内連携がスムーズにできるとよいと思う。

年間総合相談数・・・3684 件

年間総プラン数・・・4971 件（うち直プラン 4012 件）

↳前年度より 800 件増。今後も増加が見込まれる。

2024年度

在宅サービス部 利用実績集計表

(桜町高齢者在宅サービスセンター)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	通所介護 営業日数	26	25	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	306
	1日 定員30名 (目標24名/日)	780	750	750	810	810	750	810	780	720	720	720	780	9,180
	実利用者人数	69	68	67	69	70	74	76	79	72	71	66	65	71
	延利用者数合計	611	591	583	653	614	608	700	696	589	573	565	659	7,442
	延利用者数(一般)	592	569	568	646	610	608	700	687	581	566	560	651	7,338
	延利用者数(現行相当型)	19	22	15	7	4	0	0	9	8	7	5	8	104
	登録者数	71	69	73	71	70	73	76	77	73	69	71	69	72
	新規者数	4	2	1	1	2	5	3	4	1	0	0	2	25
	終結者数	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	1	18
	月利用率	78.3%	78.8%	77.7%	80.6%	75.8%	81.1%	86.4%	89.2%	81.8%	79.6%	78.5%	84.5%	81.1%
	認知症対応型 営業日数	26	25	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	306
	1日 定員24名 (17名/日)	624	600	600	648	648	600	648	624	576	576	576	624	7,344
	実利用者人数	42	42	43	43	45	44	42	40	42	41	41	38	42
	延利用者数	400	379	384	400	409	356	384	390	352	307	324	361	4,446
	登録者数	43	43	46	46	47	44	43	46	44	45	44	45	45
	新規者数	2	0	2	2	2	0	1	1	2	2	2	1	17
	終結者数	0	0	0	2	1	0	2	1	0	2	0	1	9
	月利用率	64.1%	63.2%	64.0%	61.7%	63.1%	59.3%	59.3%	62.5%	61.1%	53.3%	56.3%	57.9%	60.5%
	総合事業通所型(市基準) 営業日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
	1日 定員10名(金20名)(目標7.5名/日)	250	250	240	260	260	230	260	250	240	230	220	240	2,930
	実利用者人数	31	38	41	40	46	47	48	49	51	52	52	41	45
	延利用者数	154	159	154	154	151	147	151	155	160	147	143	140	1,815
	登録者数	34	37	35	35	37	36	36	35	36	36	37	33	36
	新規者数	2	2	2	0	5	1	1	1	1	2	0	0	17
	終結者数	2	1	2	2	2	2	1	0	0	0	3	0	15
	月利用率	61.6%	63.6%	64.2%	59.2%	58.1%	63.9%	58.1%	62.0%	66.7%	63.9%	65.0%	58.3%	61.9%
訪問入浴	訪問入浴 営業日数	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	51
	目標件数 4.0件/日 1日/週	16	16	20	16	20	16	16	20	16	16	16	16	204
	延入浴件数	17	18	20	21	20	19	16	21	17	15	14	11	209
	延清拭件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	登録者数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3.9
	新規者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	終結者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	月利用率	106.3%	112.5%	100.0%	131.3%	105.0%	118.8%	100.0%	105.0%	106.3%	93.8%	87.5%	68.8%	102.9%
訪問介護	訪問介護 営業日数	26	25	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	306
	目標件数 90件/週	390	375	375	405	405	375	405	390	360	360	360	390	4590
	延派遣件数	373	359	352	375	370	304	337	307	336	305	307	276	4001
	訪問介護延件数	250	242	239	255	258	184	205	193	220	198	198	171	2613
	総合事業訪問型サービス延件数	116	104	106	114	106	107	109	102	98	92	99	98	1251
	自費訪問介護延件数	7	13	7	6	6	13	23	12	18	15	10	7	137
	登録者数	52	49	50	50	50	49	50	49	48	50	51	52	50.0
	新規者数	1	0	1	0	0	0	1	1	0	2	2	1	9
	終結者数	3	0	0	0	1	0	2	1	0	1	0	0	8
	月利用率	95.6%	95.7%	93.9%	92.6%	91.4%	81.1%	83.2%	78.7%	93.3%	84.7%	85.3%	70.8%	87.2%
居宅介護支援	介護プラン作成件数 実績	157	158	160	157	162	161	160	158	159	158	162	160	1912
	165件/月 新規者	3	5	9	3	7	5	5	1	4	5	1	3	51
	終結者	6	6	5	4	7	4	3	1	2	1	2	3	44
	介護プラン作成利用率	96.9%	97.5%	98.8%	96.9%	100.0%	99.4%	98.8%	97.5%	98.1%	97.5%	100.0%	98.8%	98.4%
包括支援	認定調査件数 他市含 4件/月	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	介護予防・総合事業プラン件数計 310件/月	337	336	346	346	349	349	348	354	358	354	353	349	4179
	直営件数 255件/月	271	271	281	283	286	284	284	288	292	285	280	276	3381
	直営新規件数	9	8	10	5	9	12	7	11	12	6	2	3	94
	直営月利用率	110.6%	110.6%	114.7%	115.5%	116.7%	115.9%	115.9%	117.6%	119.2%	116.3%	114.3%	112.7%	115.0%
	委託件数 65件/月	66	65	65	63	63	65	64	66	66	69	73	73	798
	委託新規件数	2	2	3	0	0	2	2	2	1	3	2	4	23
栄養事業	委託月利用率	101.5%	100.0%	100.0%	96.9%	96.9%	100.0%	98.5%	101.5%	101.5%	106.2%	112.3%	112.3%	102.3%
	市食の自立(受託)配食 営業日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
	目標食数 4食/日	100	96	100	104	104	92	104	96	96	92	88	100	1,172
	利用者実人数	4	4	4	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3
	延食数	95	91	76	72	51	45	78	72	69	68	65	74	856
	市食の自立配食月利用率	95.0%	94.8%	76.0%	69.2%	49.0%	48.9%	75.0%	75.0%	71.9%	73.9%	73.9%	74.0%	73.1%
やすらぎ支援	給食数 (通所昼)	1,019	979	976	1,054	1,036	963	1,093	1,072	932	874	880	1,010	11,888
	利用者実人数	5	6	6	4	4	2	1	1	1	1	1	1	2.8
	延派遣回数	8	10	12	8	8	4	2	2	2	2	2	2	62
	支援員登録数(特保含め活動中支援員数)	12(1)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10.0
ボラ	ボランティア総回数(生活)	49	48	47	46	35	41	42	36	37	39	42	35	497
	ボランティア総回数(教養)	33	39	44	38	18	43	34	41	44	33	34	44	445

【施設整備状況】

（１）概況説明

設置後 33 年が経過しており、ボイラー・ポンプ・厨房機器など様々な設備・備品に修繕・メンテナンスの必要が出ている。また、パソコンなどの OA 機器の更新も必要であり、施設全体の状況を把握し優先度を決めたうえで計画的に整備を進めていきたい。

（２）主な購入物品

①	2024 年 6 月	ノートパソコン 6 台購入（包括）	727,320 円
②	2024 年 7 月	3 階栄養エアコン 3 台入替購入	231,000 円
③	2024 年 11 月	ノートパソコン 3 台購入	297,000 円
④	2025 年 2 月	高圧洗浄機（ケルヒャー）購入	191,488 円
⑤	2025 年 3 月	携帯型無線機入替購入	66,495 円
⑥	2025 年 3 月	スチール書庫購入	89,179 円
⑦	2025 年 3 月	ブロワーチェーンソー購入	56,452 円

（３）主な修繕費等

①	2024 年 5 月	PAS 交換工事	1,265,000 円
②	2024 年 5 月	非常放送設備更新	1,248,500 円
③	2024 年 5 月	真空式温水ヒータ部品交換	110,000 円
④	2024 年 8 月	汚水槽ポンプ配管改修工事	165,000 円
⑤	2024 年 11 月	受水槽エア抜き弁交換	99,000 円
⑥	2024 年 11 月	1 階デイルーム床補修工事	168,300 円
⑦	2025 年 1 月	受水槽電極帯交換	115,500 円
⑧	2025 年 2 月	給湯 2 次温水ポンプ交換修理	206,000 円

2024年度 研修実施一覧表（期間 2024/4/1～2025/3/31）

（部署名 桜町高齢者在宅サービスセンター（通所介護・全体））

日 程	分 類	研 修 内 容	場 所	氏 名
6/27	総合	事業計画の共有	桜町センター1階	通所介護職員
6/27	虐待防止	スピーチロックについて動画・資料を用いて周知	桜町センター1階	桜町センター職員
7/3, 16	感染症	食中毒予防研修	桜町センター1階	高齢福祉部門全体
7/29	リスクマネジメント	事故・緊急時の対応	桜町センター1階	通所介護職員
8/28	総合	介護におけるチームコミュニケーション	戸塚ホール	高齢福祉部門全体
9月下旬	防災訓練(BCP)	災害時の基本対応の確認と理解	ホーム3階	全職員
10/29, 30	防災訓練	非常放送設備とその他の機器の関連	桜町センター1階	全職員
11/8	感染症	レジオネラ対策講習会	WEB	鈴木治実
11/8～2/28	虐待防止	東京都高齢者虐待防止研修	WEB	鈴木治実
11/25	感染症	ノロウイルスの対応	桜町センター1階	通所介護職員
12/23	虐待防止	高齢者虐待基礎研修	戸塚ホール	高齢福祉部門全体
3/27	介護	入浴対応基礎と考え方を学ぶ(動画研修)	桜町センター1階	通所介護職員
2/25, 3/5	BCP	感染症(BCP)研修・訓練	桜町センター1階	高齢福祉部門全体

（部署名 居宅介護支援 ）

日 程	分 類	研 修 内 容	場 所	氏 名
5/14	虐待防止	令和6年度 第1回 高齢者虐待事例検討会 「精神疾患の本人と精神疾患が疑われる養護者への支援」	小金井市役所 801会議室	高野 満知子
10/11	その他	認定調査業務における情報収集力の向上 調査項目・特記事項の効果的な記載方法	萌え木ホール	塩田 美紀
11/8	虐待防止	令和6年度 高齢者虐待防止研修 居宅介護支援事業所コース	オンデマンド配信	金丸 直子
11/16	その他	小金井市障害者地域自立生活支援センター主催 コミュニケーション支援について	前原暫定集会所	金丸 直子
12/2	リスクマネジメント	地域包括支援センター主催 「身寄りのいない利用者へのリスクマネジメント」	萌え木ホール	森川 靖枝 遠藤 直美
2/13	その他	令和6年度 介護サービス事業者支援研修(東京都) 「介護サービス利用者の家族への対応とクレーム対応」	WEB配信	金丸 直子
2/20	その他	令和6年度 現任研修(小金井市) 「BCP研修～理解しておくべきポイント」	萌え木ホール	金丸 直子 森川 靖枝
2/20	その他	介護事業者のためのBCP策定後の研修及び訓練に関するオンデマンドセミナー	オンデマンド配信	遠藤 直美 高野 満知子 塩田 美紀

(部署名 桜町ホームヘルプステーション・桜町訪問入浴ステーション)

日 程	分 類	研 修 内 容	場 所	氏 名
4/19	リスクマネジメント	ハラスメントに関する研修 1/25事業所連絡会カスハラ研修の伝達研修	桜町センター2F	志藤将 川崎なつみ 蛭本美佳 織茂成美 小柴久美子 後藤奈保美 上館まさ子 清水慶子
5/24	介護	倫理及び法令遵守・接遇 訪問介護員の業務内容と心得 できることできないこと	桜町センター2F	志藤将 川崎なつみ 織茂成美 後藤奈保美 小柴久美子 上館まさ子 清水慶子
6/21	リスクマネジメント	緊急時の対応 訪問介護員として対応するためには	桜町センター2F	志藤将 川崎なつみ 蛭本美佳 織茂成美 小柴久美子 後藤奈保美 上館まさ子 清水慶子
10/18	介護	プライバシーの保護の取り組みに関する研修	桜町センター2F	志藤将 川崎なつみ 蛭本美佳 織茂成美 小柴久美子 上館まさ子 清水慶子
1/17	感染症	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 (ノロウイルス感染予防の対策)	桜町センター2F	志藤将 川崎なつみ 蛭本美佳 織茂成美 小柴久美子 上館まさ子 清水慶子
1/22	虐待防止	令和6年度介護サービス事業管理者等高齢者権利 擁護研修「高齢者虐待防止研修(居宅系サービス向 け)」WEB研修	桜町センター2F	志藤将
1/23	その他	訪問介護事業所への報酬請求や加算の取得に関す る説明会(小金井市介護福祉課)	市役所第二庁舎	志藤将
2/10	その他	訪問介護令和6年度 【東京都福祉局】集団指導 WEB研修	桜町センター2F	志藤将
2/20	リスクマネジメント	令和6年度現任研修「事業継続化(BCP)研修」～ 理解しておくべきポイント～	萌え木ホール	志藤将
2/21	リスクマネジメント	BCP伝達研修(防災・感染) 2/20市現任研修の伝達研修、机上訓練	桜町センター2F	志藤将 川崎なつみ 蛭本美佳 織茂成美 小柴久美子 上館まさ子 清水慶子
2/24	認知症	認知症とは 認知症自己チェック 認知症ケアパス	桜町センター2F	志藤将 武田愛子 鳴海政子
3/21	感染症	感染症対策(疥癬)	桜町センター2F	志藤将 川崎なつみ 蛭本美佳 織茂成美 小柴久美子 上館まさ子 清水慶子
	認知症	認知症及び認知症ケア 認知症の症状と環境との関係		
	虐待防止	人権擁護・虐待防止 ケアの目的、虐待の芽チェックシート		

(部署名:小金井きた地域包括支援センター)

日 付	分 類	研 修 内 容	場 所	氏 名
5/17	その他	東京ウィメンズプラザ職務関係者研修(第1回基礎)	ZOOM	中川 麻砂子
6/3	認知症	東京都認知症地域対応力向上研修	オンライン	小笠原 昭子
7/8～9	包括職員	令和6年度東京都地域包括支援センター職員初任者研修	あいおいニッセイ同和損保新宿ホール	小笠原 昭子
7/27	ケアマネ	2024年度第1回CMAT研修「SVの基礎的理解」	ZOOM	高野 美子
7/29～30	包括職員	令和6年度地域包括支援センター職員基礎研修	ZOOM	新岡 里子
8/7	区市町村職員等	権利擁護テーマ別実践研修(第1回) 「セルフネグレクトへの支援」	あいおいニッセイ同和損保新宿ホール	及川 彩子
8/9	認知症	第2回東京都認知症地域対応力向上研修	ベルサール西新宿	小笠原 昭子
8/28	ケアマネ	2024年度第3回CMAT研修「今なぜケアラー支援なのか」	ZOOM	高野 美子
9/13	ケアマネ	2024年度第4回CMAT研修「認知症という疾患、認知症ケアについて」	ZOOM	高野 美子
9/20	ケアマネ	小金井市包括主催 令和6年度第1回事例検討会	戸塚ホール	高野 美子
10/24	認知症	東京都キャラバンメイト養成研修	新宿NSEビル	小笠原 昭子
10/26	認知症	認知症書記集中支援チーム員研修	e-ラーニングzoom	小笠原 昭子
10/29	ケアマネ	小金井市包括主催 令和6年度第2回事例検討会	小金井市社会福祉協議会会議室	高野 美子
11/13	ケアマネ	2024年度第6回CMAT研修「介護支援専門員のワーク・エンゲイジメント」	ZOOM	高野 美子
12/2	ケアマネ	小金井市包括主催 令和6年度第1回研修「身寄りのいない利用者へのリスクマネジメント」	萌え木ホール	高野 美子
1/16	ケアマネ	小金井市包括主催 令和6年度第2回研修「第2号被保険者でサービス利用に拒否が強い事例」	小金井市社会福祉協議会会議室	高野 美子
11/12～ 3/18	ケアマネ	主任介護支援専門員研修	ベルサール神保町アネックス	中川麻砂子
3/11	認知症	若年性認知症に関する介護・障害事業所向け研修	オンデマンド配信	小笠原 昭子

Ⅲ 本町高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業・食の自立支援事業（小金井市受託事業）

【令和6年度利用状況報告】

● 事業別利用率状況（3か年の推移）

種別	定員	1日平均利用者数	利用率（R6）	利用率（R5）	利用率（R4）
通所介護（一般・予防）	25名	17.0名	72.1%	73.5%	80.6%
認知症型通所介護	12名	6.7名	56.0%	72.5%	74.2%
食の自立支援事業	80名	80.0名	100.0%	102.6%	104.1%

（1）通所介護（予防型・一般型）

①要介護度別実人数・延べ人数

介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	0	0	173	188	91	66	24	542
割合	0.0%	0.0%	31.9%	34.7%	16.8%	12.2%	4.4%	100.0%
介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	0	0	1053	2015	1157	746	100	5071
割合	0.0%	0.0%	20.8%	39.7%	22.8%	14.7%	2.0%	100.0%

●実人数 介護3以上 33.4% 介護3以下 66.6%

●延人数 介護3以上 39.5% 介護3以下 60.5%

②基本属性

平均年齢 87.0歳（最高101歳女性、最低68歳女性）

男女比率 男性26%：女性74%

利用登録者 要介護者62名 要支援者0名 合計62名

新規利用者（19名） 主な利用理由（外出機会の確保・転倒や認知症予防・趣味活動参加での生きがい作り・入浴希望・他デイ閉鎖に伴う移行）

廃止利用者（15名） 主な廃止理由（逝去・施設入所・他サービス利用

入院による状態変化・一般型への移行）

（2）認知症対応型通所介護

①要介護度別実人数・延べ人数

	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	0	0	0	12	64	105	84	265
割合	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	24.2%	39.6%	31.7%	100.0%
	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	0	0	0	74	679	656	644	2053
割合	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	33.1%	32.0%	31.4%	100.0%

●実人数 介護3以上 95.5% 介護3以下 4.5%

●延人数 介護3以上 96.4% 介護3以下 3.6%

②基本属性

平均年齢 86.4歳（最高96歳女性、最低63歳女性）

男女比率 男性39%：女性61%

利用登録者 要介護者23名

新規利用者（13名） 主な利用理由（認知症の方の全面的支援認知症ケア・見守り対応・家族介護軽減・入浴希望・その他等）

廃止利用者（13名） 主な廃止理由（逝去・施設入所・長期入院）

【職 員】

	令和 7 年 4 月 1 日の 職員数			年間退任・就任						令和 6 年 4 月 1 日の 職員数		
	正 職 員	非 常 勤 職 員	合 計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤	合計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1 名		1 名							1 名		1 名
生活相談員	3 名		3 名							3 名		3 名
介護職員		10 名	10 名			1 名	3 名	1 名	3 名		12 名	12 名
看護職員		4 名	4 名								4 名	4 名
栄養士調理員		3 名	3 名								3 名	3 名
宅配員		13 名	13 名			3 名					10 名	10 名
食の自立 Co	1 名		1 名							1 名		1 名
事務員		1 名	1 名								1 名	1 名
運転員		3 名	3 名								3 名	3 名
清掃員		1 名	1 名								1 名	1 名
合 計	5 名	35 名	40 名							5 名	34 名	39 名

※但し、兼務者は主たる業務でカウントしている。

【施設運営状況】

1. 運営体制

昨年度は小金井市に対して、公募による指定管理委託更新の意向を知らせると同時に、市民にとっても必要不可欠な事業所であることを示すため、下記の 3.「財務報告」でも触れる事となるが、低迷している利用率の向上を重点に取り組みを始めた。四半期ごとに目標を設定し、鋭意、改善努力中である。

管理体制については配置上の責任者はいるものの、実務的に管理業務を専任しておこなえる状況になかったため、人員配置の適正化と職員の採用を進め、体制整備を進めている最中である。またご利用者に直接関わる現場業務においては、人手不足な介護現場でもケアの質を落とさずにサービス提供が出来るよう、生産性向上と効率化・簡略化を念頭におき、「ムリ・ムダ・ムラ」をなくすよう周知し、業務を組立てている。

本町センターは離職率が低いことが良い点ではあるが反面、新入職員の育成が苦手な部分も浮き彫りとなった。入職した職員がやりがいを持って働き、組織の一員となれるように研修体制の見直しやマニュアルの整備を進めている。

2. 指定管理委託の更新

2024（令和 6）年度は小金井市の指定管理協定の第 7 期（5 ケ年：2021 年度～2025 年度）の 4 年目であった。2025 年度は指定管理協定の最終年度となる為、管理委託を更新する必要がある。現在の協定にある「食の自立支援事業」は、今回の協定を持って受託終了となることが決定されており、昨年度においては代替業者（民間）への移行スケジュールの確認と方法について市と協議をおこなってきた。今後は「通所介護事業」を指定管理委託の主たる事業として申請し、更新準備を進める事となる。

3. 財務報告

本年度（2024（R6）年度）決算は、資金収支会計で当期資金収支差額合計は、19,587 千円

の赤字、事業活動収支会計で当期活動増減差額は、19,686千円の赤字でと大きなマイナス決算となってしまった。

また、事業活動収支会計における介護保険事業収入は約1億3,000万円であった。

昨年度は年度当初から退職希望者が相次ぎ、安定していた現場体制が一時的に乱れた。やはり一昨年から続く、事業運営の不透明さにモチベーションを維持する事が出来ず、退職者が出る事となった。その影響もあり、安定して新規利用者の受入れが進まず、利用率の低下に繋がった事は否めない。しかし昨年の事業報告でも触れている通り、利用者数に対する過剰な人員配置が見られることから、これを是正し適正な人員配置となるキッカケとしている。

利用者の状況を見ると、入院、入所、体調の変化により利用がなかなか定着しないことが赤字となった原因であるが、新型コロナウイルスの影響で訪問系サービスが充足したことにより、自宅での生活が完結してしまい、5類に移行された後の通所系サービスは施設系サービスと比べると、利用の回復が思うように進んでいないという見解もある。

小金井市の委託事業である食の自立支援配食事業においては、1日目標80食に対して年間平均80.0食と目標を達成している。

【利用者支援状況】

1. サービス方針に則った取組み

(1) 人格を尊重した福祉の実践

1) 労務環境改善取組み

① 処遇改善計画の立案と実施

- ・ 処遇改善手当対象外職員への賃金改善など
- ・ 国家資格受験料助成、健康管理支援（メンタルヘルスチェック、健康診断オプション検査助成）

② 身体健康管理対策

- ・ 腰痛ベルト支給
- ・ 職員検診（4月、5月）
- ・ トイレ内壁掛け扇風機の設置
- ・ 体温等体調確認チェック（毎日）の実施
- ・ インフルエンザワクチン予防接種（11月）

③ メンタルの健康管理対策

- ・ コミュニケーション改善のためのOJTの習慣化
- ・ ストレスチェックの実施および産業医の面談（中央労働災害防止協会）

④ 人材確保への取組み

- ・ ホームページリニューアルによる求人ページの活用
- ・ カイテク（日雇い派遣）の活用

2) 人材育成取組み

① 理念に則った支援の遂行

- ・ サービス提供現場でのOJT
- ・ 相談員MTG、職員会議で支援の振り返りと検討

② 介護事故、ヒヤリハットの振り返り

③ 生活相談員会議、給食会議、職員会議の開催

④ メンター制による中途採用職員の育成

⑤ 集合型研修の再開

3) 愉しみ、張り合い、心地よさの追求取組み

① 愉しみの追求

- ・ 給食会議の実施

- ・行事食や食形態の見直し等を検討。
- ・生活リハビリを兼ねた調理プログラムの実施（・大根もち作り・みかんジャム作り・・梅シロップ作り・赤しそジュース作り・どら焼き作り・白玉作り）
- ・センターでの藍の栽培～藍染体験
- ・敬老会での手作りプレゼント作成（オリジナルフォトフレーム）
- ・壁掛け用大型スクリーンの使用

②張り合いの追求

- ・保育園との交流会(しんあい保育園)
- ・認知症進行予防の取り組み立案と実施
 - 1) 脳トレーニング 「脳を鍛える学習療法」
 - 2) 回想法「よい聴き手であり続けるために」

③重度障害・医療ニーズの高い認知症高齢者、看取り支援

- ・重度介護が必要な方や看取り介護が必要な方の受け入れ。
- ・経管栄養、痰の吸引、在宅酸素、褥瘡処置
- ・看取り支援（医療と多職種連携、食事摂取方法の検討、家族支援）
- ・食形態（特食）食事摂取方法の検討（栄養部と連携）
- ・在宅医療、介護サービスとの多職種連携（MCS の活用）

（2）安全と安心の提供

1）食の自立支援事業（配食、いっぷくカフェ）

①配食サービス

- ・配達日：日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く平日
- ・利用日：月水金または火木土の週 3 回以内
- ・対 象：下記ア、イの要件を満たし且つ包括支援センターの調査訪問結果で市の承認を得た方
 - ア：介護保険サービスを利用している方
 - イ：「ひとりぐらし」もしくは「高齢者世帯」、「その他の世帯」で食材の調達・調理が困難で、定期的な見守り支援が必要な方
- ・利用数：定員は 80 食/日。実績は平均 80.0 食/日。

②いっぷくカフェ

- ・開催頻度：月 1 回
- ・内 容：閉じこもり防止のきっかけづくりとして外出機会をつくる。前年度同様に会食は出来ないが、体操等を取り入れたお茶会を実施。（コーヒーや軽食を提供）短時間のミニデイサービス体験を提供。
- ・対 象：食の自立支援事業配食サービスご利用者様から選定
- ・実施時間：14 時～15 時
- ・参加人数：4 名～5 名

③食の自立担当者会

- ・日 時：2024 年 4・10 月
- ・内 容：指定管理委託更新や 2025 年度の食の自立支援事業廃止のスケジュール案について協議。

2）利用者協議会

- ・日 時：2025 年 3 月 13 日に実施
- ・内 容：本町センターの事業運営に対し、ご利用者様や関係者の方の意見を伺うことにより、その内容を反映しながら適切にサービス提供するために実施した。また、食の自立支援事業の移行に向けた説明や指定管理委託更新に

ついても触れ、ご利用者・ご家族から理解を得られた。皆様からは、お褒めの言葉や意見を多くいただき、今後の事業運営や職員の励みに繋がった。

- ・参加者：地域住民、ボランティア代表、ご利用者様代表（配食）、ご家族様代表、小金井市職員、事業所職員

3) 建物設備

- ・誘導灯更新工事（5月）
- ・粗大ゴミ廃棄（5月）
- ・防災無線保守点検（7月）
- ・トイレ内壁掛け扇風機設置（8月）
- ・エレベーター部品交換工事（7月）
- ・増圧ポンプ点検、貯水槽清掃（断水有）（10月）
- ・勤怠システム更新（3月）

4) 感染症予防取組み

①感染症対策委員会、安全衛生委員会の活動

- ・感染症研修の開催（9月：食中毒予防 自施設研修）
- ・感染症シュミレーション研修開催・参加（3月：自施設研修）
- ・ノロキット配備（車輦・建物）
- ・次亜塩素消毒薬による建物設備消毒実施
- ・ノロキット用塩素消毒薬の毎日交換実施
- ・インフルエンザ予防接種・検便検査実施

②感染症予防環境対策

- ・エタノール手指消毒液（濃度 75%以上）での消毒
- ・自動手指消毒・検温器の玄関フロア設置
- ・2階フロア空気清浄器の使用
- ・送迎検温表の作成実施
- ・新型コロナ感染症予防対応マニュアル（通所介護編）の見直し
- ・害虫防除作業委託（通年）
- ・感染疑い、要経過観察者発生時の対応方法見直し、経過観察スペース確保

5) 感染症発生状況

年間を通してクラスターのような感染症の発生は防止出来ており、重篤な罹患者も見受けられなかった。新型コロナウイルスに関しては、抗原検査の実施は感染が疑われる場合や、感染後の復帰の際にしか使用していない状況である。

定期的に「感染症後の利用再開について」を配布し、ご利用者・ご家族の理解と協力もありウイルスを持ち込まない対策を継続して実施出来ている。

6) 事故等発生状況

①労災事故

- ・5件

②介護事故

- ・なし

③ヒヤリハット

- ・12件 ※内部規定による「事故発生届け」も含む

④車輦事故

- ・なし

⑤苦情

- ・なし

(3) 地域との共生

1) 認知症に強い街づくりへの取り組み

①けやきのまち振興会への加入

- ・ けやき通りの環境整備への協力を目的に入会

②認知症を支える介護者の集い

- ・ 開催日：毎月第一土曜日 13 時 30 分～15 時
- ・ 内 容：認知症を支える在宅介護の経験を分かち合い、学び、気づきを得て、家族介護や自分自身と地域の今後に活かしていただく。
- ・ 対 象：当センターにおける家族会は、家族介護者に限定せず、地域で認知症の方の在宅介護の支えとなっている方、支えになりたいと考えている方、認知症サポートに興味関心のある方が自由に参加できるよう門戸を開いている。
- ・ 開催回数： 12 回（4 月～3 月）
- ・ 参加人数： 延べ 60 名

③運営推進会議（認知症対応型通所介護）

- ・ 開催日：2024 年 10 月 1 日（火）、2025 年 4 月 8 日（火）に
桜町高齢者在宅サービスセンターと合同開催
- ・ 内 容：認知症型デイサービスの事業内容や事業状況を報告し、サービスの質を確保する。
- ・ 参加者：地域住民（行政書士）、ご利用者様家族、包括支援センター職員、事業所職員

2) こがねい介護教室（家族介護者教室）

- ・ 日 時：2024 年 11 月 9 日（土）13 時 30 分～15 時 00 分
- ・ テーマ：「在宅高齢者の災害への備えについて」
- ・ 講 師：平岡 力氏（聖ヨハネ会 高齢部門設備担当・防災士）
- ・ 参加者：11 名（職員除く）

【施設整備状況】

(1) 概況説明

1998（H10）年 10 月開設から 25 年が経過。引き続き開設当初の設備備品は部品供給が終了しており、修理不能のため入替が必要な状況。今後必要となる大規模な修繕としては、

①1・2 階共用部分空調設備（GHP）②エレベーターの修繕（自動着床装置の不具合）

③館内電灯設備の LED 化④自動ドアの更新である。

また大規模な修繕ではないが、2 階特浴室の油圧式ドア、1 階食堂の油圧式ドアが異音と同時に開閉しにくくなっており、修理が必要な状態である。

当センターは福祉二次避難所の指定もあり、設備や備蓄の面も含め、市と連携しながら進める。

(2) 主な購入物品

令和 6 年 6 月	介護サポート器具購入(2 点)	¥33,000
令和 6 年 8 月	壁掛け扇風機購入	¥60,060
令和 6 年 11 月	3 階加湿器購入	¥15,880

(3) 主な修繕・設備入替

①本町 C 対応

令和 6 年 4 月	介護請求ソフトバージョンアップ	¥88,000
令和 6 年 5 月	粗大ゴミ廃棄	¥50,050
令和 6 年 6 月	3 階系統空調機修理	¥22,000

令和6年9月	機械浴槽修理	¥81,004
令和6年9月	電動ベッドリモコン交換	¥26,950
令和6年11月	送迎車両修理(スズキ スペース)	¥44,737
令和7年3月	送迎車両修理(日産 キャラバン)	¥88,660

②小金井市対応

・なし

【事業状況】(利用実績集計表・利用率の推移)

事業別 2024(R6)年度 利用実績集計表		2024年4月～2025年3月											本町高齢者在宅サービスセンター	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険事業	通所介護・一般 日数	26	25	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	306
	23名/日 定員	598	575	575	621	621	575	621	598	552	552	552	598	7,038
	介護給付 (23人想定)	新規	3	1	1	1	0	1	4	0	1	2	1	19
		終結	1	0	3	1	1	1	2	0	0	5	1	15
		登録数	60	61	59	59	58	58	60	64	65	62	62	-
		実利用者数	45	46	42	44	39	39	43	48	49	46	46	-
		延利用者数	422	418	385	455	422	381	441	435	419	407	452	5,072
		人数/日当	16.2	16.7	15.4	16.9	15.6	15.2	16.3	16.7	18.1	17.5	17.0	17.4
		利用率	70.6%	72.7%	67.0%	73.3%	68.0%	66.3%	71.0%	72.7%	78.8%	75.9%	73.7%	75.6%
	予防給付 (2名想定)	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		終結	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		登録数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人数/日当	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		利用率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小 計	延利用者数	422	418	385	455	422	381	441	435	419	407	452	5,072
		利用率	64.9%	66.9%	61.6%	67.4%	62.5%	61.0%	65.3%	66.9%	72.5%	69.8%	67.8%	69.5%
事業	通所介護・認知症 日数	26	25	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	306
	12名/日 定員	312	300	300	324	324	300	324	312	288	288	288	312	3,672
	新規	0	1	2	2	0	0	2	0	1	1	2	2	13
	終結	1	0	3	3	1	1	1	0	0	0	2	1	13
	登録数	25	26	25	24	23	22	23	23	24	25	25	26	-
	実利用者数	19	21	23	24	21	20	23	23	23	21	24	22	-
	延利用者数	171	175	180	193	166	157	188	161	180	170	160	152	2,053
	人数/日当	6.6	7.0	7.2	7.1	6.1	6.3	7.0	6.2	7.5	7.1	6.7	5.8	6.7
	利用率	54.8%	58.3%	60.0%	59.6%	51.2%	52.3%	58.0%	51.6%	62.5%	59.0%	55.6%	48.7%	56.0%
	通所介護合計	実利用者数	64	67	65	68	60	59	66	71	70	70	68	-
		延利用者数	593	593	565	648	588	538	629	596	615	589	567	7,125
	※通所介護全体利用率		61.6%	64.1%	61.1%	64.9%	58.9%	58.2%	63.0%	62.0%	69.3%	66.3%	63.9%	62.8%
	家族介護者教室	回数								1				1
		利用者数								11				11
	認知症高齢者家族交流	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		利用者数	3	2	2	7	2	2	15	2	3	2	18	60
食の自立支援事業	食の自立支援事業 日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
	80人/日 定員	2000	1920	2000	2080	2080	1840	2080	1920	1920	1840	1760	2000	23,440
	①②③⑤ 延食数	1991	1962	2051	2159	2082	1870	2090	1895	1903	1799	1749	1971	23,522
		利用率	99.6%	102.2%	102.6%	103.8%	100.1%	101.6%	100.5%	98.7%	99.1%	97.8%	99.4%	100.3%
	①配食サービス	登録数	186	184	181	184	182	184	187	186	182	179	183	-
		実利用者数	173	177	178	179	181	177	179	176	173	174	171	-
		延食数	1986	1952	2035	2154	2076	1865	2087	1891	1899	1794	1736	23,442
		食/日当	79.4	81.3	81.4	82.8	79.8	81.1	80.3	78.8	79.1	78.0	78.9	80.0
		利用率	99.3%	101.7%	101.8%	103.6%	99.8%	101.4%	100.3%	98.5%	98.9%	97.5%	98.6%	100.0%
	②緊急配食	実利用者数	0	1	2	0	1	0	0	0	0	1	2	7
		延食数	0	6	12	0	3	0	0	0	0	2	10	33
	③活動会食サービス	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		延利用者数	5	4	4	5	3	5	3	4	4	3	3	47
		回数												0
		延利用者数												0
	④栄養マネジメント (自立推進クラブ)	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤調査・ケアプラン	新規・継続	7	6	5	2	5	3	4	6	2	5	4	50
独自事業	高齢者見守りサービス	実利用者数	2	1	3	2	0	0	1	0	0	2	0	11
	パーチャタイム(自費)	延利用者数	14	4	5	3	0	0	1	0	0	3	0	30
	日常生活支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(各種相談対応等)	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボランティア活動	実人数	17	13	17	18	15	16	14	17	10	17	18	-
		延人数	33	32	34	43	30	32	34	40	32	34	31	401
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

2024年度 本町高齢者在宅サービスセンター 研修計画・実施一覧表

2024. 4月 ~ 2025. 3月

日 程	分 類	研 修 内 容	場 所	参加者氏名
7月3日(水)	感染症	高齢部門合同感染症研修1回目	桜町C	全職員
7月16日(火)	感染症	高齢部門合同感染症研修2回目	桜町C	全職員
12月10日(火)	管理	安全運行管理者研修	中野ZERO 小ホール	長津宏史
12月23日(月)	虐待防止	虐待防止研修	法人本部	長津・市村
2月20日(木)	BCP	小介連主催BCP研修	WEB	長津・山田・笹野・市村
2月25日(火)	BCP	高齢部門合同 BCP訓練研修1回目	桜町C	全職員
2月27日(木)	防火防災	本町センター防災訓練・研修	本町C	本町職員
3月5日(水)	BCP	高齢部門合同 BCP訓練研修2回目	桜町C	全職員
3月18日(火)	虐待防止	小介連主催虐待防止研修	WEB	長津宏史
3月29日(土)	感染症	感染症シュミレーション研修	本町C	本町職員

3. 医療部門

I 桜町病院（生計困難者の為に無料・低額な料金で診療を行う事業）

【施設運営状況】

2024 年度は、事業活動資金収支差額▲46,467 千円、施設整備等資金収支差額▲111,300 千円、当期資金収支差額合計▲921 千円と、前年度同様大きな赤字を計上するに至った。本館建替時の借入金返済が終了したことにより、当期資金収支差額の赤字は昨年度を下回ったが、本業である事業活動資金収支差額の赤字は昨年度よりも拡大し、コロナ禍で最も経営が落ち込んだ 2020 年度を上回る赤字額となった。

上記の原因としては、当初予算で計画していた収入の確保、とりわけ入院患者の確保が目標を大きく下回ったことが最大の要因である。2024 年度の当初予算では、入院 146.6 名／日、外来 294.6 名／日の患者数を目標としていたが、上半期を終えた時点で、入院は 10 名以上、外来は 20 名以上目標を下回っており、計画していた収入を確保することは難しい状況であった。原因としては、急性期病院からの紹介患者数が前年度に比べて減少したことが大きい。昨年度は内科医の不足により紹介患者をお断りせざるを得ないケースが相次いだため、内科医を増員して今年度に臨んだところだったが、一転して入院患者の不足に苦しむことになった。医師会との連携強化や、近隣病院や介護施設への営業活動にも取り組んだが、計画患者数の確保には至らなかった。

支出についても、削減へ向けた取組みを並行して進めてきたが、収入減を埋め合わせるだけの削減には至らなかった。特に人件費については、賞与支給額の抑制により支出削減に努めているものの、予定外の退職者の発生による退職金支出が大きな負担になっている。加えて、物価高騰の影響で、材料費、医薬品費、給食費、業務委託費等の支出も、患者数が減少している割に減ってはならず、経営上の大きな負担になっている。当初計画していた施設設備等の整備についても、緊急性が高いものを除き大半は見送りとせざるを得なかった。

このような状況にあって、収支の改善が急務である中、今後に向けた病院事業の見直しについても検討を続けた。半期終了時点で全病棟の稼働率が 8 割を切っている状況であったため、稼働病棟を 5 病棟から 4 病棟へ圧縮し、職員配置と運営費用の適正化を図ることとした。具体的には、診療単価が他病棟に比べて低く、人件費率が高止まりしている療養病棟を当面の間休止することとし、2024 年 12 月より計画に着手、2025 年 3 月末で当該病棟の休止が完了した。これ以外にも、事業見直しの一環として、精神神経科の縮小や人間ドックの廃止、後述する院内保育の休止と桜町児童ショートステイの廃止を決定し、一部を 2024 年度中に完了している。

【診療実績】

1. 一日平均患者数

外来、入院ともに前年度を下回る実績となった。入院については、内科の入院患者数を確保できなかった事が一番大きい。外来についても、多くの診療科で患者数は昨年度並みにとどまった。増患に向けた営業活動は行い、一部において功を奏した面はあったものの、全体としては目標とする患者数の確保には至らなかった。近隣の中小病院の多くが患者の確保に苦慮しているとの話もあり、当該地域における在宅医療の充実が、病院の医療需要に大きな変化をもたらしているのではないかと推測しているところである。

今後は、在宅医療機関との連携体制の構築が、入院・外来ともに増患の鍵になってくると思われる。

	2024 年度 当初目標	2024 年度 実績	2023 年度 実績	2022 年度 実績
一日平均入院患者数	146.6 名	131.9 名	135.1 名	136.2 名
内科	72.0 名	59.2 名	62.5 名	66.7 名
外科	12.0 名	11.7 名	11.0 名	9.4 名
整形外科	33.0 名	33.3 名	33.7 名	33.4 名
小児科	1.3 名	1.3 名	1.1 名	1.0 名
産婦人科	12.0 名	10.6 名	11.9 名	10.2 名
眼科	1.3 名	1.2 名	1.1 名	1.2 名
ホスピス	15.0 名	14.4 名	13.7 名	14.3 名
一日平均外来患者数	294.6 名	277.7 名	280.9 名	291.2 名
内科	105.0 名	100.4 名	99.6 名	106.0 名
外科	16.0 名	15.4 名	14.9 名	18.6 名
整形外科	49.0 名	46.8 名	47.9 名	47.9 名
小児科	32.0 名	28.5 名	32.2 名	27.6 名
精神神経科	33.0 名	26.7 名	27.4 名	29.0 名
産婦人科	32.0 名	29.9 名	31.1 名	32.8 名
眼科	26.0 名	27.9 名	25.7 名	25.8 名
ホスピス	1.6 名	1.5 名	1.7 名	1.7 名

2. 手術件数

目標は下回ったものの、900 件を超える手術件数を維持することが出来た。整形外科は常勤医師 1 名が 2024 年度末で退職予定であったため、補充に向けて動いていたところだが、年度内の補充はかなわなかった。来年度以降の収入に与える影響が極めて大きいため、早急に補充できるよう引き続き注力していく。産婦人科の手術件数は減少の一途を辿っているが、新しい術式の導入等もあり、引き続き件数を維持するよう努める。

	2024 年度 当初目標	2024 年度 実績	2023 年度 実績	2022 年度 実績
年間手術件数	960 件	917 件	958 件	944 件
外科	—	26 件	33 件	22 件

整形外科	—	292 件	302 件	275 件
産婦人科	—	362 件	407 件	409 件
眼科	—	237 件	216 件	238 件

3. 分娩件数

昨年度並みの分娩件数を維持することができたのは幸いであったが、近隣分娩機関と比べて、当院の強みが今一つ明確ではないことが数年来の課題であり、この点に関しては進捗があったとは言えない。

正常分娩への健康保険適用が取り沙汰される中、近隣病院において周産期センター開設が予定されており、当地域における産科医療の今後は極めて予想が難しい。このような状況下で、病室の個室化等の大規模な投資を行うことはリスクが大きく、可能な範囲内での増患策を探っていかなざるを得ない。

	2024 年度 実績	2023 年度 実績	2022 年度 実績
年間分娩件数	267 件	272 件	241 件

4. 無料低額診療実績

昨年度より若干名増加したものの、ほぼ例年通りの実績である。対象患者確保のための取組は続けており、例えばオーバーステイの患者の受入は都内でも屈指の実績だが、生活保護の受診者数が少ないため、全体としての実績が伸びておらず、結果として年間数百万円程度の固定資産税支払が生じている。社会福祉法人立の病院として、無料低額診療事業は今後も継続していくが、小金井市および周辺地域は生保受給者の絶対数が少ないため、これ以上の需要掘り起こしは難しいのではないかと考えている。

	2024 年度 実績	2023 年度 実績	2022 年度 実績
特別診療券による外来受診件数	105 件	87 件	107 件
特別診療券による外来受診人数（実人数）	25 名	24 名	37 名

【職員の状況】

区分	2024 年 4 月 1 日 の職員数		入退職				2025 年 3 月 31 日 の職員数	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員		非常勤職員		常勤職員	非常勤職員
			入職	退職	入職	退職		
医 師	27	44	1	2	5	4	26	45
助産師	9	11	0	2	1	0	7	12
看護師	76	53	3	9	7	9	70	51
准看護師	2	2	0	0	0	0	2	2
看護助手	10	8	1	1	2	6	10	4
薬剤師	6	1	1	0	0	0	7	1
放射線技師	8	0	0	2	0	0	6	0
臨床検査技師	9	1	1	0	0	1	10	0
PT・OT・ST	11	4	0	0	1	0	11	5
栄養士	7	0	0	1	0	0	6	0
社会福祉士	5	0	0	0	0	0	5	0
事務部	18	15	0	1	0	4	17	11
施 設	3	0	1	2	1	0	2	1
その他	18	33	0	4	12	5	14	40
合 計	209	172	8	24	29	29	193	172

事務部の人数は（事務部長・総務課・経理・医事課）

その他の人数は（診療情報管理室・診療技術部助手・調理師・調理員・心理士・保育士等）

入退職の人数は常勤から非常勤、又は非常勤から常勤への勤務形態変更を含む

【機器・施設整備状況】

2024 年度は北 4 病棟の特浴装置一式、超音波検査装置、本館西側外壁のタイル修繕工事等合計 36,893 千円を計画したが、その後の経営状況により、高額の整備の大半を見送りせざるを得なかった。超音波検査装置やシリンジポンプ等、寄付金を利用して更新を行ったものも一部ある。

2025 年 1 月にはホスピス棟の給湯ボイラー故障により、入院患者の入浴に支障を来した。上記は耐用年数を超えて使用しており、交換用部品の入手も困難であったため、やむを得ず全面更新を行った。

前年度に引き続き、耐用年数を超過しているため、故障時の修理が出来ない機器を多数抱えており、計画外であっても故障時には更新が避けられない状況である。特にエアコンについては、故障時の診療への影響も甚大であり、苦しい経営状況ではあるが、計画的な更新を進めていく必要がある。

機器名	数量	金額 (千円)	新設 更新	整備 箇所
腹腔鏡鉗子セット	1	1,130	新規	産婦人科
○超音波検査装置	1	6,105	更新	検査科

小型シリンジポンプ	3	617	更新	経理課
○シリンジポンプ	3	478	更新	経理課
○輸液ポンプ	3	500	更新	経理課
樹木植栽管理		1,210		施設課
本館 各病棟個室 ルームエアコン更新		1,823	更新	施設課

○は寄付金を利用して整備

【研修実施状況】

全職員対象の研修として、以下の研修を実施した。昨年度から引き続き、感染予防と受講率の向上の観点から、E-ラーニング形式での実施とし、実施後のアンケートで知識の定着を確認する方法を採った。

憲襲名	実施年月	形式
コミュニケーションエラーについて	2024 年 7 月	e-ラーニング
新型コロナウイルス感染症について考える	2024 年 11 月	e-ラーニング
医療用麻薬について	2024 年 12 月	e-ラーニング
標準予防策	2025 年 3 月	e-ラーニング

※部署単位で行う研修については記載省略

【特記事項】

1. 病院長および副院長の交代について

小林宗光院長が 2024 年 6 月 20 日をもって退任し、後任として瀬口秀孝副院長が 6 月 21 日付で病院長に就任した。小林前院長は、6 月 21 日付で名誉院長に就任した。

瀬口副院長の院長就任に伴い、後任の副院長として増岡一典診療部長が 6 月 21 日付で副院長に就任した。

2. さくらまち保育所、さくらんぼ保育室について

常勤職員 2 名、非常勤職員 4 名で運営している（職員は兼務）。職員の児の預かり（平日日中のほか、休日・夜間にも対応）の他、当院産後ケア利用者の児の預かり保育を行っている。さくらんぼ保育室では小金井市からの委託事業である病児保育を行っている。

さくらまち保育所については、かねてより利用者数の減少が顕著であったが、2024 年度末で常時利用 0 名となる見込みで、今後の利用者確保も見込めないため、2025 年 3 月 31 日をもって当面の間休園することを決定した。

上記に伴い、さくらまち保育所の付帯事業として行っていた、小金井市産後ケアにおける生後 5 ヶ月以上の児の受入れについても、市との協議の結果今年度末で受入を中止することとした。さくらんぼ保育室については、市の意向に従い 2025 年度も継続することとしている。

3. さくらまち児童ショートステイについて

小金井市ほか 3 市の障害児の短期入所、および日中一時支援を常勤職員 6 名で行っている。年度当初は常勤職員 5 名体制で運営していたが、その後の退職と産休による欠員補充がままならず、開所日数を大幅に削減して運営せざるを得なかった。従業員の確保は昨年度から継続して行ってきたものの、昨今の人手不足の影響により、応募自体が皆無に近い状況であった。

従業員の確保以外にも、施設の老朽化や慢性的な赤字により、来年度以降の事業継続が危ぶまれる状態であったため、聖ヨハネ会障害部門、および行政との協議を重ね、事業存続の道を探したが、特に従業員の確保・育成に関して来年度の目途が立たないため、やむを得ず今年度末で事業を廃止することとなった。

廃止にあたり、利用者家族や行政との協議の結果、同等のサービスを提供可能な事業者が非常に限られており、事業廃止による利用者への影響が甚大であることが予想されたため、聖ヨハネ会障害部門における短期入所サービスへの移行を希望する方向けの支援サービスを期間限定で行うこととした。上記支援サービスは **2025** 年末までの期間限定で、引き続き行政からの補助金を得られることになっている。

以上

5. 収益事業部門

施設名 : シニアハイムさくら (高齢者賃貸住宅)

【施設運営】

小金井の地で医療・介護・福祉サービスを展開している中で、入院や特養入所にいたる前の段階で小規模でも安心して生活できる場の形成が必要との考えから、高齢者賃貸住宅を提供することの意義があると考え本事業をスタートし8年目を迎えた。地域包括ケアシステムを構築する過程で老後を自宅又は小金井市内にて居住したいとの要望は大変高いが、全くの在宅独居の生活は不安だという高齢者の方の住まいが求められており、高齢福祉部門としても介護保険事業だけでは本来目指そうとしている高齢者の安心につながるサポートを充実できないという考えでこの事業を開始した。対象者は自立された方で在宅介護サービスを利用し自立生活可能な方とし、介護スタッフは配置せず管理人を配置し、ケアマネジャーは桜町ケアマネジメントセンターが基本的に受け持つという基本方針で進めることとなった。

入居後に身体の衰えなどで特養への入所に移ってしまうケースも予想していた以上に多いということがわかったため今後は積極的な入居は行わないこととしたが、利用者1名が11月に退所となり、利用者がいない状態となった。

従って2025年度に事業を廃止することとしたい。

【2024年度利用状況報告】

種別	定員	1日平均利用者数	2024年度利用率
シニアハイムさくら	5室	1名	20.0%

【施設整備状況】

特になし

三 理事会

第 368 回 2024 年 4 月 24 日（水）

（１）決議事項

- 第 1 号議案 2024 年度運営協議会委員の選任の件
- 第 2 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 高齢福祉部門給与規程
 - (2) 障害福祉部門運営規程
 - (3) 〃 給与規程
- 第 3 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築に関する検討事項の件
- 第 4 号議案 桜町聖ヨハネホームエレベーター更新の件
- 第 5 号議案 桜町病院人事・給与事務内製化の件
- 第 6 号議案 基本金取り崩し（訪問看護事業）の承認の件
- 第 7 号議案 施設長等の人事の件

（２）報告事項

- 報告事項 1 桜町聖ヨハネホーム・桜町高齢者在宅サービスセンター実施指導
 の改善報告の件

第 369 回 2024 年 6 月 4 日（火）

（１）報告事項

- 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告について(下半期実績報告)

（２）決議事項

- 第 1 号議案 2023 年度監事監査報告の承認の件
- 第 2 号議案 2023 年度事業報告及び計算書類等の承認の件
- 第 3 号議案 社会福祉充実残額の承認の件
- 第 4 号議案 新役員候補者の選出の件
- 第 5 号議案 役員等賠償責任保険契約の承認の件
- 第 6 号議案 定時評議員会の招集事項決定の件
- 第 7 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 高齢福祉部門給与規程
 - (2) 障害福祉部門給与規程
 - (3) 障害福祉部門 SNS 運用方針
 - (4) 緑町聖ヨハネケアビレッジ運営規程
- 第 8 号議案 施設長等の人事の件
 - (1) 桜町病院副院長
- 第 9 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築基本計画策定の件
- 第 10 号議案 さくらまち児童ショートステイ事業の今後の件
- 第 11 号議案 学童利用に関する問い合わせの件

第 370 回 2024 年 7 月 25 日（木）

（１）決議事項

- 第 1 号議案 業務執行理事の選任の件
- 第 2 号議案 外国人採用の件
- 第 3 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 高齢福祉部門就業規則
 - (2) 〃 表彰・懲戒委員会規程
 - (3) 桜町病院給与規程
- 第 4 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築に関する検討事項の件
- 第 5 号議案 桜町病院の改善検討事項の件

（２）報告事項

- 報告事項 1 本町高齢者在宅サービスセンターの経過の件
- 報告事項 2 桜町病院資金繰り経過の件
- 報告事項 3 桜町聖ヨハネホーム不適切ケア経過報告の件

第 371 回 2024 年 8 月 22 日（木）

（１）決議事項

- 第 1 号議案 障害福祉部門の事業編成計画の件
- 第 2 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 高齢福祉部門給与規程
 - (2) 〃 表彰・懲戒委員会規程
- 第 3 号議案 桜町病院資金繰りと改善状況の件
- 第 4 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築に関する検討事項の件
- 第 5 号議案 桜町聖ヨハネホーム虐待事案の件
- 第 6 号議案 顧問弁護士の変更の件

（２）報告事項

- 報告事項 1 団体交渉の経過の件

第 372 回 2024 年 9 月 26 日（木）

（１）決議事項

- 第 1 号議案 ハラスメント委員会からの答申の件
- 第 2 号議案 桜町病院資金繰りと改善状況の件
- 第 3 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築に関する検討事項の件
- 第 4 号議案 外国人採用の件（雇用契約書）
- 第 5 号議案 桜町聖ヨハネホーム虐待事案の件
- 第 6 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 高齢福祉部門就業規則
 - (2) 〃 非常勤就業規則
 - (3) 〃 表彰・懲戒委員会規程

第 373 回 2024 年 10 月 24 日（木）

（１）決議事項

- 第 1 号議案 運営協議会委員の退任及び選任の件
- 第 2 号議案 桜町病院資金繰りと改善状況の件
- 第 3 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築に関する検討事項の件
- 第 4 号議案 桜町聖ヨハネホーム虐待事案の件
- 第 5 号議案 ハラスメント委員会からの答申による審議の件
- 第 6 号議案 顧問弁護士の委員会等の対応費用の件

（２）報告事項

- 報告事項 1 団体交渉経過報告の件

第 374 回 2024 年 11 月 28 日（木）

（１）決議事項

- 第 1 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 障害福祉部門正規職員給与規程
 - (2) " 非常勤職員給与規程
 - (3) 高齢福祉部門給与規程
- 第 2 号議案 2024 年度第一次補正予算の承認の件
- 第 3 号議案 桜町聖ヨハネホーム虐待事案の件
- 第 4 号議案 桜町病院の改善に向けた取り組みの件
- 第 5 号議案 評議員会の招集事項決定の件

（２）報告事項

- 報告事項 1 顧問弁護士との委任契約書締結の件
- 報告事項 2 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件
（上半期実績報告）

第 375 回 2024 年 12 月 26 日（木）

（１）決議事項

- 第 1 号議案 小金井聖ヨハネワークセンター廃止時期の件
- 第 2 号議案 寄付金マーケティング取り組みの件
- 第 3 号議案 監事 1 名の候補者選出の件
- 第 4 号議案 桜町聖ヨハネホームの改築に関する検討事項の件
- 第 5 号議案 評議員会の招集事項決定の件
- 第 6 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 障害福祉部門正規職員給与規程

第 376 回 2025 年 1 月 23 日（木）

（１）決議事項

- 第 1 号議案 桜町聖ヨハネホームの改築に関する検討事項の件
- 第 2 号議案 桜町病院の改善状況に関する経過の件
- 第 3 号議案 東京都労働委員会救済申立の件

(2) 報告事項

- 報告事項 1 富士聖ヨハネ学園虐待通報にかかる調査の件
報告事項 2 竹川和宏業務執行理事の処分に係る経緯の件

第 377 回 2025 年 2 月 27 日 (木)

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 2024 年度第二次補正予算の承認の件
第 2 号議案 施設長等人事の件
第 3 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
(1) 障害福祉部門育児・介護休暇等に関する規程
(2) 〃 正規職員就業規則
(3) 〃 非正規職員就業規則
第 4 号議案 東京都労働委員会救済申立の経過の件
第 5 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築に関する検討事項の件
第 6 号議案 桜町病院の改善状況に関する経過の件

(2) 報告事項

- 報告事項 1 業務執行理事の処分に係る経緯の件

第 378 回 2025 年 3 月 11 日 (火)

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 病床数適正化支援事業に関する事業計画提出の件

第 379 回 2025 年 3 月 18 日 (月)

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 2025 年度事業計画及び予算の承認の件
第 2 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
(1) 障害福祉部門組織規程
(2) 高齢福祉部門育児休業規則・介護休業規則
(3) 〃 給与規程
(4) 法人本部給与規程
第 3 号議案 評議員会の招集事項決定の件

臨時回 2024 年 11 月 14 日 (木)

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 2024 年 10 月 24 日第 373 回理事会において議決された件に基づき、表彰懲戒委員会メンバーの選定について

臨時回 2024 年 11 月 21 日 (木)

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 桜町聖ヨハネホーム虐待事案に関する職員処分の件

四 評議員会

第 117 回 2024 年 6 月 20 日（水）

（１）報告事項

報告事項 1 2023 年度監事監査報告の件

報告事項 2 2023 年度事業報告の件

（２）決議事項

第 1 号議案 2023 年度計算書類等の承認の件

第 2 号議案 社会福祉充実残額の承認の件

第 3 号議案 新役員の選任の件

その他 桜町病院の資金状況報告

第 118 回 2024 年 12 月 12 日（木）

（１）決議事項

第 1 号議案 2024 年度第一次補正予算の承認の件

（２）報告事項

報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について（上半期実績報告）

第 119 回 2025 年 1 月 11 日（木）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

第 1 号議案 監事 1 名の選任の件

第 120 回 2025 年 3 月 28 日（金）

（１）決議事項

第 1 号議案 2025 年度事業計画及び予算の承認の件

（２）報告事項

報告事項 1 東京都労働委員会救済申立の件

報告事項 2 病床適正化支援事業に関する事業計画提出の件

五 経営会議

2024 年 4 月 18 日（木）

【報告事項】

- (1) 新委員の紹介について

【議 案】

- (1) 桜町病院の給与内製化及び法人の勤怠管理システムの経過について
- (2) 法人貸与携帯電話の利用について
- (3) 今年度の桜町聖ヨハネ祭について

2024 年 5 月 16 日（木）

【議 案】

- (1) 障害者雇用について
- (2) 令和 6 年報酬改定について
- (3) 桜町聖ヨハネ祭について

2024 年 6 月 27 日（木）

【報告事項】

- (1) 新委員の紹介

【議 案】

- (1) 月次報告内容について
- (2) 桜町聖ヨハネ祭について

2024 年 7 月 18 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2024 年 6 月度）
- (2) 戸塚神父様の墓参について

【議 案】

- (1) 障害者雇用について
- (2) 自動車保険について
- (3) BCP 作成について
- (4) 桜町聖ヨハネ祭について

2024 年 8 月 21 日（木）

【報告事項】

- (1) 月次報告（2024 年 7 月度）

【議 案】

- (1) 「地域交流会」について
- (2) 自動車保険について
- (3) 勉強会について

2024 年 9 月 19 日（木）

【報告事項】

- (1)月次報告（2024 年 8 月度）及び月次推移報告（4-7 月）

【議 案】

- (1)情報ツールの紹介について
- (2)地域交流会について
- (3)桜町聖ヨハネホームの建て替えについて

2024 年 10 月 17 日（木）

【報告事項】

- (1)月次報告（2024 年 9 月度）及び月次推移報告（4-8 月）

【議 案】

- (1)福利厚生メニューの紹介について
- (2)2024 年度第 1 次補正予算について
- (3)桜町聖ヨハネホームの建て替えについて

2024 年 11 月 21 日（木）

【報告事項】

- (1)利用率推移、職員状況、行事・トピックス報告（2024 年 10 月度）
- (2)地域交流会反省会報告

【議 案】

- (1)福利厚生ツール、業務管理ツールに関する検討について
- (2)Windows10 サポート終了について
- (3)顧問社労士の契約について
- (4)2024 年度第一次補正予算について

2024 年 12 月 19 日（木）

【報告事項】

- (1)利用率推移、職員状況、行事・トピックス報告（2024 年 11 月度）
- (2)2024 年度第一次補正予算について

【議 案】

- (1)福利厚生ツールに関する検討について
- (2)2025 年度事業計画及び予算スケジュール等について
- (3)慈善銀行助成金について
- (4)BCP について

2025 年 1 月 16 日（木）

【報告事項】

- (1) 利用率推移、職員状況、行事・トピックス報告（2024 年 12 月度）

【議 案】

- (1)「日本を取り巻く環境」勉強会について

- (2)2024 年度第二次補正予算スケジュール等について
- (3)福利厚生アンケートについて

2025 年 2 月 20 日（木）

【報告事項】

- (1)利用率推移、職員状況、行事・トピックス報告（2025 年 1 月度）

【議 案】

- (1)福利厚生に関するアンケート結果と勉強会（KDDI）について
- (2)BCP 机上訓練について
- (3)法人内出向制度の検討について
- (4)学童保育事業の検討について

2025 年 3 月 27 日（木）

【報告事項】

- (1)利用率推移、職員状況、行事・トピックス報告（2025 年 2 月度）

【議 案】

- (1)福利厚生の適用範囲について
- (2)2025 年度予算について